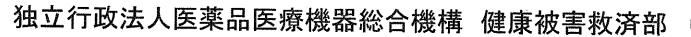


平成21年9月30日





調査概要	P3
対象者のプロフィール	P4
Summary	P5
コメント	Р9
1 健康被害救済制度 認知率	P10
2 医薬品副作用被害救済制度 認知率	P11
3 生物由来製品感染等被害救済制度 認知率	P12
4 健康被害救済制度 内容認知	P13
5 健康被害救済制度 認知経路	P15
6 健康被害救済制度 教えてもらった人	P16
7 健康被害救済制度 パンフレット・ポスター接触場所	P17
8 広告の認知率	P18
9 広告の接触場所	P19
10 健康被害救済制度 關心度	P20
11 健康被害救済制度 情報収集の方法	P21
12 副作用の経験	P22
13 副作用で治療を受けた経験	P23
14 健康被害救済制度を利用した経験	P24
15 健康被害救済制度利用時の相談先	P25
16 健康被害救済制度利用時の相談相手	P26
17 健康被害救済制度利用時に苦労した事柄	P27
18 健康被害救済制度を利用しなかった理由	P28
19 健康被害救済制度 今後の利用意向	P29
20 健康被害救済制度 利用意向の理由 有効な周知の方法	P30

.

付録:調査票

P31

Ĺ

調査概要

・調査目的 健康被害救済制度の浸透度を把握し、今後の基礎資料とする

- ·調査対象 マクロミルモニタ 20歳以上の男女
- ·調査地域 全国
- ・調査方法 インターネット調査
- ·調査時期 2009年7月25日(土)~7月27日(月)
- ・有効回答数 3,119サンプル
 (人口統計比にあわせて回収)

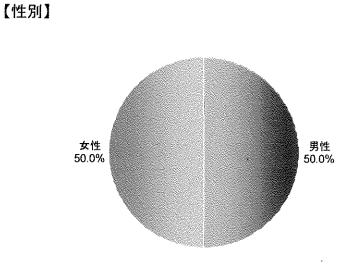
	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州
男性_20代	14	22	113	55	50	17	9	33
男性_30代	13	20	115	57	50	17	9	30
男性_40代	14	24	107	57	48	18	10	36
男性_50代	15	25	99	57	49	19	11	37
男性_60才以上	15	25	96	58	50	20	11	35
女性_20代	14	22	107	54	53	18	9	37
女性_30代	14	20	110	56	54	17	9	33
<u>女性_40代</u>	15	25	98	55	49	18	11	38
女性_50代	16	24	96	57	51	20	11	37
女性_60才以上	15	26	89	58	50	22	12	39

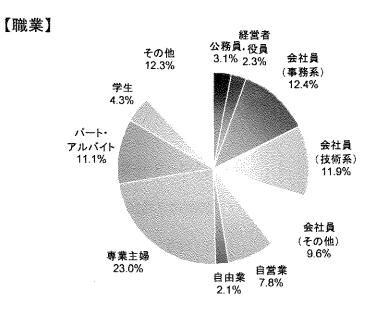
(人)

·調査実施機関

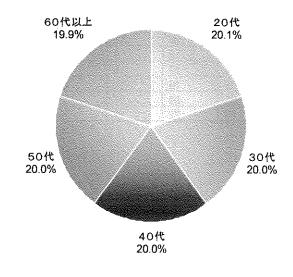
株式会社マクロミル

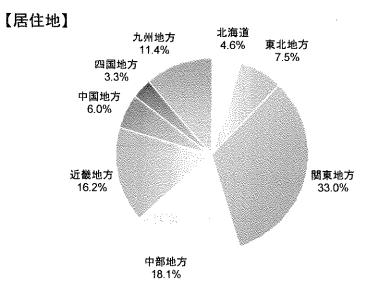
対象者のプロフィール (n=3,119)





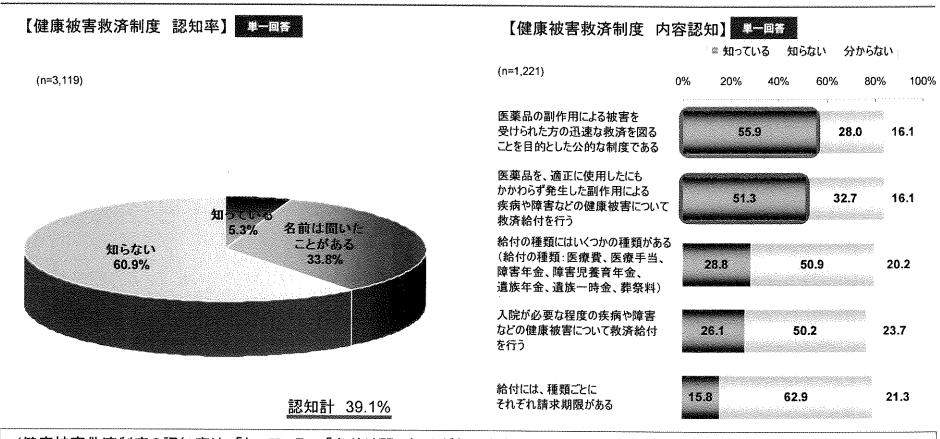
【年代】





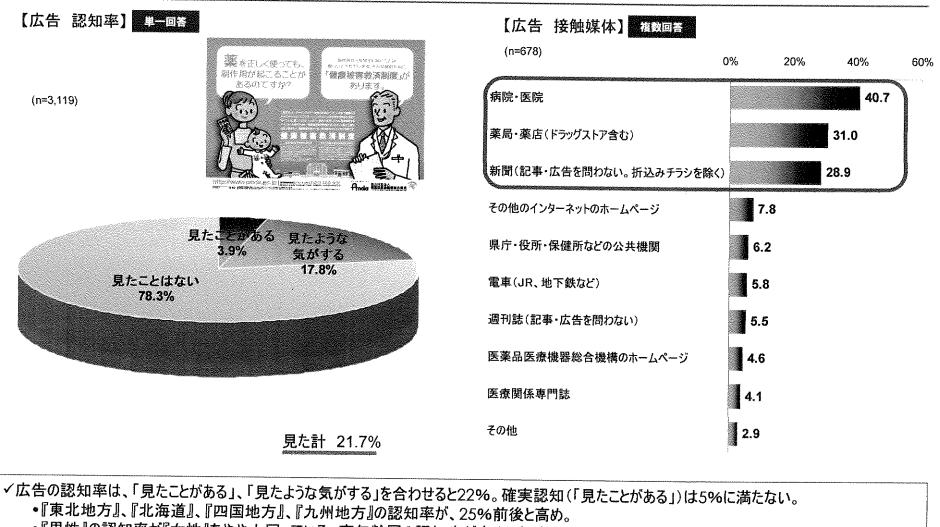
Summary

Summary



- ✓健康被害救済制度の認知率は、「知っている」、「名前は聞いたことがある」を合わせると39%。確実認知(「知っている」)は、5%にとどまる。
 - •『東北地方』の認知率が約半数と、他のエリアと比べ高いが、確実認知は6%と差は見られない。
 - 認知率に男女差は見られないが、確実認知は『男性』がやや高め。
 - ・男女『60代以上』は、他の年代よりも認知率が高め。
- ✓健康被害救済制度認知者の認知内容を見ると、「医薬品の副作用による被害を受けられた方の迅速な救済を図ることを目的とした公的な制度である」、「医薬品を、適正に使用したにもかかわらず発生した副作用による疾病や障害などの健康被害について救済給付を行う」の認知が過半数となっている。
 - 『北海道』は、「給付の種類にはいくつかの種類がある」、『四国地方』では、「給付には、種類ごとにそれぞれ請求期限がある」が 他のエリアと比べ高めである。

Summary



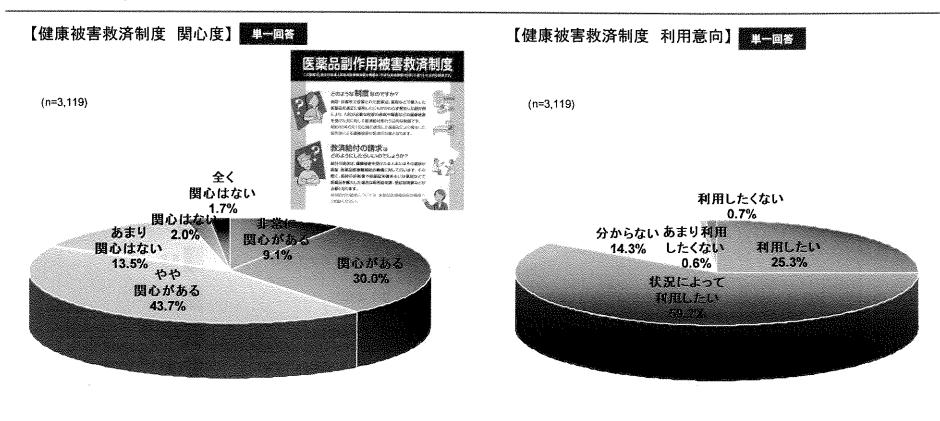
• 『男性』の認知率が『女性』をやや上回っている。高年齢層の認知率が高めの傾向。

✓広告認知者の接触媒体は、「病院・医院」41%がトップ。以下、「薬局・薬店」、「新聞」が3割前後で続き上位を形成している。

•「病院・医院」「薬局・薬店」は男女30代を中心に高め。

•「新聞」は、男女とも『60代以上』で高く、『女性60代以上』では接触媒体のトップとなっている。

Summary



TOP2 39.1%

TOP3 82.8%

利用したい計 84.4%

✓健康被害救済制度への関心度は、「非常に関心がある」~「やや関心がある」を合わせると83%。
 ・エリア別に見ると、いずれの地方も関心度が8割以上となっている。
 ・年代別に見ると、関心の度合いは、『60代以上』で非常に高まり、「非常に関心がある」+「関心がある」で5割前後を占めている。
 ✓健康被害救済制度の今後の利用意向は、「利用したい」、「状況によって利用したい」を合わせると8割以上を占める。
 ・『北海道』の利用意向は8割を下回っている。一方、『近畿地方』は9割近くと高い。
 ・『女性』の利用意向は、全ての年代で85%を超え、『男性』よりも高い。一方、『男性20代』では8割を下回る。



 $\left(\begin{array}{c} & & \\ & & \\ & & \end{array} \right)$

健康被害救済制度 認知率

1

		n=	0%	20%	40%	60%	80%	100%	認知計									s.,	
全	体	(3,119)	5.3	33.8		60	.9	eneses initia	39.1			n=	0%	20%	40%	60%	80%	100%	認知計
	北海道	(145)	5.5	30.3		64.	1	in an	35.9		男性 計	(1,560)	7.0	33.3		59	9.7	inaan ar sin Lahin dalama	40.3
-	東北地方	(233)	6.0	41.2		anta di seconda di seco	52.8	sureșune Întriciu de	47.2		男性20代	(313)	7.7	25.6		66.8	nenne en sen sen sen sen sen sen sen sen	nagestadose Gladisinaates	33.2
	関東地方	(1,030)	5.1	33.6		61	.3		38.7		男性30代	(311)	8.0	28.9	interreteri La interreteri	63	0	enneder kommen Kontenen konstander	37.0
レリ	中部地方	(564)	5.1	33.9	ninging series and s	61.	.0	90466999ee Géléférete	39.0		男性40代	(314)	8.3	35.0		5	6.7	entektoninet anhalekanine	43.3
ア 別	近畿地方	(504)	5.6	34.5		59	.9	uninitiin Walioinna	40.1		男性50代	(312)	4.8	36.5		58	3.7	ndyssener Angelener	41.3
	中国地方	(186)	3.8	29.6		66.7			33.3	性年	男性60代以上	(310)	6.1	40.3		ļ	53.5	eners. dalati	46.5
	四国地方	(102)	5.9	31.4		62.	7	syngenes	37.3	代別	女性 計	(1,559)	37	34.4		62	0	alestate.	38.0
	九州地方	(355)	5.9	33.0		61.	1		38.9		女性20代	(314)	5.7	23.2	entiște din alter Maniștration din a	71.0	aline and the second	aren en e	29.0
											女性30代	(313)	4.8	32.3	internetio internetione	62	9 9	inapprovi internetio	37.1
	全体+10ボー 全体 +5ボー										女性40代	(309)	2.3	32.4	anninnin Siirinnin	65.	yssignesiyesissi 4 Umminissisississisi	enteterinen Konstituter	34.6
1	主体 +0ホ 全体 -5ホ	()补以上									女性50代	(312)	2.9	41.0		5	6.1	naktinin penin Sentitekkenses	43.9
	金が 王幹 ~ 104 ~ (n=30以_										女性60代以上	(311)	2.6	43.1			54.3	anggapatan Anggababasa	45.7

◎ 知っている ◎ 名前は聞いたことがある 知らない

・健康被害救済制度の認知率(知っている+聞いたことがある)は、39%。 【エリア別】

•『東北地方』の認知率が47%と高め、一方、『中国地方』では、33%とやや低めである。 【性年代別】

• 『男性』は、「知っている」のスコアが高めの傾向。 『40代』では、男女差が大きい。 男女ともに 『60代以上』の認知率が他の年代と比べ高めとなっている。

2 医薬品副作用被害救済制度 認知率

Q2あなたは下記に挙げた「健康被害救済制度」をご存知ですか。

【医薬品副作用被害救済制度】

*健康被害救済制度認知者ペース

🚿 知っている 🚿 名前は聞いたことがある 👘 知らない

		n=	0% 20%	40% 60%	80% 100%	認知計							
全体	k.	(1,221)	16.0	61.4	22.6	77.4			n=	0% 20%	40% 60%	80% 100%	
	北海道	(52)	19.2	71.2	9.6	90.4		】 男性 計	(628)	18:9	60.8	20.2	<u>認知計</u> 79.8
	東北地方	(110)	12.7	68.2	19.1	80.9		男性20代	(104)	20.2	61.5	18.3	81.7
	関東地方	(399)	14.5	61.2	24.3	75.7		男性30代	(115)	19.1	59.1	21.7	78.3
エ リ	中部地方	(220)	16.8	59.5	23.6	76.4		男性40代	(136)	19.9	55.9	24.3	75.7
ア 別	近畿地方	(202)	14.4	59.9	25.7	74.3		男性5O代	(129)	16.3	63.6	20.2	79.8
1 1	中国地方	(62)	12.9	66.1	21.0	79.0	性年	男性60代以上	(144)	19.4	63.9	16.7	83.3
	四国地方	(38)	18.4	60.5	21.1	78.9	代別	女性 計	(593)	12.8	62.1	25.1	74.9
	九州地方	(138)	23.2	56.5	20.3	79.7	121	女性20代	(91)	15.4	52.7	31.9	68.1
		1						女性30代	(116)	13.8	62.1	24.1	75.9
	全体+10ボイ 全体 +5ポイ							女性40代	(107)	11.2	57.9	30.8	69.2
	全体 -5ポイ ◎ 全体-10ボイ	冰以上						女性50代	(137)	10.2	64.2	25.5	74.5
./	(n=30以上	の場合〉						女性60代以上	(142)	14.1	69.0	16.9	83.1

・健康被害救済制度認知者のうち、医薬品副作用被害救済制度の認知率(知っている+聞いたことがある)は、77%。

【エリア別】

・『北海道』の認知率がエリア別で唯一9割を上回っている。「知っている」との回答は、『九州地方』が2割強と最も高い。

【性年代別】

•『男性』の認知率が『女性』よりもやや高め。特に、『20代』は男女差が大きい。男女ともに『60代以上』が他の年代と比べ高めとなっている。

单一回答

3 生物由来製品感染等被害救済制度 認知率

Q2あなたは下記に挙げた「健康被害救済制度」をご存知ですか。

【生物由来製品感染等被害救済制度】

🛎 知っている 🛎 名前は聞いたことがある 🗉 知らない

£ .

*健康被害救済制度認知者ベース

		n=	0%	20%	40%	60%	80%	100%	認知計										
全	体	(1,221)	5.8	29.3		64.9)	anterparter ²	35.1			n=	0%	20%	40%	60%	80%	100%	認知計
	北海道	(52)	3.8	36.5		59.	.6	anaistas	40.4		男性 計	(628)	8,1	33.6		5	8.3	nganas] Mésaké	41.7
	東北地方	(110)	5.5	30.9		63.6	5	etter etter Talannisia	36.4		男性20代	(104)	14.4		38.5		47.1	an an tha an Tha an tha an	52.9
	関東地方	(399)	5.8	31.8		62.4	4	uisiois	37.6		男性30代	(115)	7.8	38.3)		53.9	ingelegeneses en et Ministrik	46.1
エリ	中部地方	(220)	4	29.1		66.8	energia esperado esta deleta deleta con	nagendes Administra	33.2		男性40代	(136)	9.6	32.4		5	8.1	erentetetetete herheidelik	41.9
ア 別	近畿地方	(202)	59	27.2		66.8		niminenen Deniklasion	33.2		男性50代	(129)	3.9	33.3		62	.8	inegeniseen Saelidaadd	37.2
	中国地方	(62)	16	29.0		69.4		independen Independen	30.6	性年	男性60代以上	(144)	6.3	27.8		66.	0	enggelegen. Galiliatik	34.0
	四国地方	(38)	7.9	21.1		71.1			28.9	代別	女性 計	(593)	3.4	24.8		71.8			28.2
	九州地方	(138)	10.9	23.9		65.2		ogiose Galicicio	34.8		女性20代	(91)	9.9	37.	4		52.7		47.3
		1									女性30代	(116)	3 4 17	.2	eren er en er en er en er en er	79.3	n serie se	nispiir Mirita	20.7
	全体+10ポイ 全体 +5ポイ	· [女性40代	(107)	1,9 2	5.2	en kominensen heinen har heine	72.9	nen en		27.1
	全体 -5ポ 全体-10ポ	124以上									女性50代	(137)	3.6 17	.5		78.8	n salan salan siya jiya jiya Malan kana kana kana kana kana kana kana	natespileise entretetimises	21.2
	(n=3012)_	との場合〉									女性60代以上	(142)	2	9.6	inanasana Sertember (Sertember)	70.4		unananan Addition	29.6

・健康被害救済制度認知者のうち、生物由来製品感染等被害救済制度の認知率(知っている+聞いたことがある)は、35%。

【エリア別】

・『北海道』の認知率が4割を上回り、他のエリアと比べ高めとなっている。

【性年代別】

・『男性』の認知率が『女性』を大きく上回る。男女ともに『20代』が他の年代と比べ高めとなっている。

4 健康被害救済制度 内容認知

単一回答

Q3「健康被害救済制度」について、以下それぞれにあてはまるものをひとつお選びください。

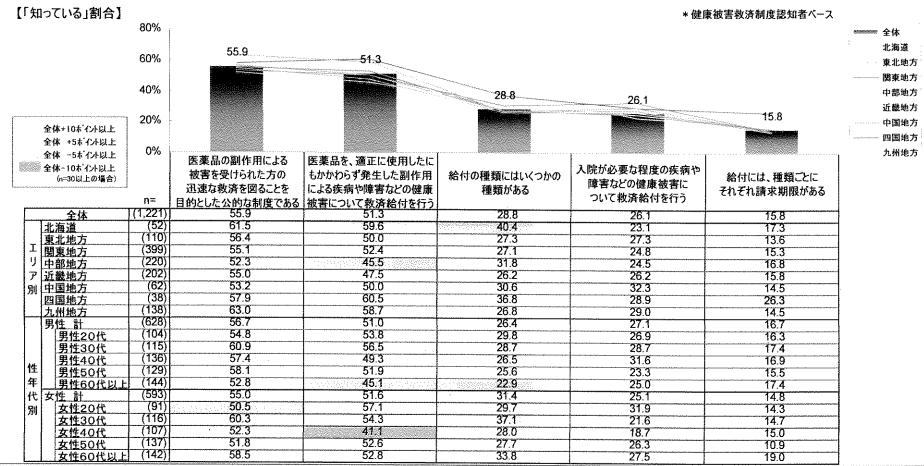
* 健康被害救済制度認知者ベース

		1 23	知っている 知らなし	い 分からない		
(n=1,221)	0%	20%	40%	60%	80%	100%
医薬品の副作用による被害を受けられた方の迅速な救済を図ることを 目的とした公的な制度である		55.9		28.0	16.1	
医薬品を、適正に使用したにもかかわらず発生した副作用による疾病や 障害などの健康被害について救済給付を行う		51.3		32.7	16.1	
給付の種類にはいくつかの種類がある(給付の種類:医療費、医療手当、 障害年金、障害児養育年金、遺族年金、遺族一時金、葬祭料)	28	.8	50	9.9	20.2	
入院が必要な程度の疾病や障害などの健康被害について救済給付を行う	5 26.1		50.2		23.7	
給付には、種類ごとにそれぞれ請求期限がある	15.8		62.9		21.3	

認知率が過半数となった項目は、「医薬品の副作用による被害を受けられた方の迅速な救済を図ることを目的とした公的な制度である」、 「医薬品を、適正に使用したにもかかわらず発生した副作用による疾病や障害などの健康被害について救済給付を行う」の2項目。

4 健康被害救済制度 内容認知

Q3「健康被害救済制度」について、以下それぞれにあてはまるものをひとつお選びください。



【エリア別】

• 『北海道』『四国地方』『九州地方』は、他エリアと比べて多くの項目で高め。

特に、『北海道』は、「給付の種類にはいくつかの種類がある」、『四国地方』では、「給付には、種類ごとにそれぞれ請求期限がある」が他のエリアと比べ高くなっている。

【性年代別】

•「給付の種類にはいくつかの種類がある」で女性が男性よりやや高め。

複数回答

5 健康被害救済制度 認知経路

複数回答

Q4あなたは「健康被害救済制度」をどのようにして知りましたか。あてはまるものを全てお選びください。

	* 侹	康被害救済制	度認知者	ベース	1	全体	北海道	東北地方		达方 中部	地方	近畿地方	中国地方	四氢地方	九州地方	5	
			60% 40% 20%	46.8	38.7	17.9	12.7										
								6.4	4.6	4.2	3.4	3.3	3.1	0.8	0.5	0.1	2.5
	4	È体+10ボイント以上 È体 +5ボイント以上 È体 -5ポイント以上 È体-10ボイント以上 (n=30以上の場合)	n=	テレビ放送	新聞(記事・ 広告を問わ ない。折込み チラシを除く)	人(知人、 医師等、 企業、自治 体、団体) から聞いた/ 教えてもらった		週刊誌 (記事・広告 を開わない)	医療関係 専門誌	医薬品 医療機器 総合機構の ホームページ	ポスター	パンフレット	ラジオ放送	シンポジウム	医薬品 医療機器 総合機構 主催の国民 フォーラム	DVD	その他
		全体	(1,221)	46.8	38.7	17.9	12.7	6.4	4.6	4.2	3.4	3.3	3.1	0.8	0.5	0.1	2.5
		每道	(52)	42.3	38.5	26.9	21.2	15.4	5.8	11.5	5.8	3.8	3.8		3.8	-	1.9
T		比地方	(110)		40.9	10.9	12.7	8.2	5.5	3.6	6.4	5.5	5.5	1.8	-	-	0.9
		<u>東地方</u>	(399) (220)	47.6 45.0	39.3	17.5	12.5	6.3	3.0	3.0	3.0	1.3	3.0	0.5	0.3	0.3	4.3
		路地方	(220)	46.5	35.9 39.6	18.6	12.7	6.4	4.5	3.6	3.6	2.3	3.6	+	0.9	~	1.4
1 1		<u> </u>	(202)	46.5	29.0	17.8 32.3	10.4	3.5	3.5	5.4	3.0	4.0	2.0	2.0	0.5	~	2.0
		国地方	(38)	47.4	44.7	18.4	14.5	4.8	4.8	1.6	1.6	4.8	3.2	1.6	-	~	1.6
		<u>国地方</u> 地方	(138)	47.1	44.7	13.8	23.7	2.6		5.3	2.6	2.6	2.6	-	-	-	-
	毌	生計	(628)	41.7	40.0	16.2	9.4 16.1	8.0	10.9	5.1	2.9	7.2	2.2	0.7	-	-	2.2
·		<u>1</u> 男性20代	(104)		28.8	20.2	15.4	9.1 7.7	4.8	4.6	3.0	3.3	3.7	0.8	0.5	0.2	2.5
		男性20代	(115)		36.5	13.0	17.4	13.9	4.8 4.3	1.9 4.3	3.8 1.7	1.9	3.8	-	-	1.0	4.8
		男性40代	(136)	42.6	40.4	15.4	16.2	8.8	<u>4.3</u> 5.1	4.3		3.5	5.2	0.9	-		0.9
性		男性50代	(129)	45.0	48.1	16.3	17.1	10.1	4.7	3.9	2.9 3.1	5.1 3.1	2.9	1.5	0.7	~	1.5
年		男性60代以上	(144)	36.1	57.6	16.7	14.6	5.6	4.9	5.6	3.1	2.8	1.6 4.9	- 1.4	0.8 0.7	-	0.8
代		生計	(593)	52.1	33.7	19.7	9.1	3.5	4.4	3.7	3.9	3.2	4.9 2.5	0.8	0.7		4.9
別		女性20代	(91)	46.2	19.8	26.4	13.2	4.4	8.8	6.6	1.1	3.3	2.5	U.0	0.5	-	2.4 3.3
		女性30代	(116)	56.9	18.1	15.5	11.2	2.6	5.2	4.3	9.5	1.7	0.9	1.7	0.9		2.6
		女性40代	(107)	57.0	27.1	16.8	12.1	2.8	5.6	2.8	0.9	3.7	2.8	0.9			2.0
		女性50代	(137)	53.3	44.5	18.2	6.6	4.4	2.9	2.9	0.7	2.2	3.6	0.5			2.0 1.5
		女性60代以上	(142)	47.2	50.0	22.5	4.9	3.5	1.4	2.8	6.3	4.9	2.8	0.7	0.7	*	2.1

•認知経路は、「新聞」が約4割と高い。以下、「人から教えてもらった」、「その他のインターネットのホームページ」が1割台で続く。

【エリア別】

•『中国地方』では、「人から教えてもらった」が「新聞」をやや上回り、他エリアと傾向が異なる。

【性年代別】

•「新聞」は、『60代以上』の高年齢層で高めとなっている。

6 健康被害救済制度 教えてもらった人

1.8

その他

九州地方

Q5 あなたは「健康被害救済制度」について、誰から知りましたか。あてはまるものを全てお選びください。

北海道

************ 全体

*「人から聞いた/教えてもらった」回答者ベース

全体+10ポイント以上

全体 +5ポイント以上

全体 -5ボイント以上

全体-10ポイント以上

(n=30以上の場合)

80%

60% 40%

20%

0%

東北地方 ————— 関東地方 中部地方 近畿地方 ———— 中国地方 ————— 四国地方

67.1 18.3 12.8 11.4 9.1 7.3 6.4 5.9 3.7 2.7 1.4 14 0.9 0.5 -Wienerskie S 医療機関 医薬品 (病院など) 地方自治体 保健所の 製薬会社の ケース 薬剤師会の 医療機器 知人·友人 家族 医師 看護師 薬剤師 歯科医師 弁護士 の蜜務 小陸線 动 島 10 58 99 0 A are diate under an -----

WIANA ANA ANA	*******						- 05季765			の職員	戰員	相談窓口	ワーカー	相談窓口	総合機構の			
			n=				担当者								相談窓口			
			(219)	67.1	18.3	12.8	11.4	9.1	7.3	6.4	5.9	3.7	2.7	1.4	1.4	0.9	0.5	1.8
	北	海道	(14)	71.4	14.3	14.3	14.3	14.3	21.4	21.4	14.3	7.1	7.1	7.1		*		7.1
	東	北地方	(12)	58.3	25.0	25.0	8.3	16.7	8.3	8.3	-	8.3	-	-	~	-	-	
L	関	東地方	(70)	70.0	14.3	10.0	11.4	10.0	7.1	4.3	7.1	2.9	1.4	1.4	2.9	1.4		1.4
יין	中	部地方	(41)	53.7	26.8	9.8	12.2	7.3	2.4	4.9	2.4	-	4.9	-	-	-	-	2.4
P	近	畿地方	(36)	72.2	19.4	11.1	8.3	8.3	8.3	5.6	2.8	5.6	-	2.8	-	2.8	-	
別	F	国地方	(20)	75.0	25.0	15.0	15.0	5.0	5.0	5.0	10.0	5.0	5.0	-	-	-	5.0	
· · · ·	四	国地方	(7)	71.4	-	14.3		-	-	28.6	28.6	-	-	-	14.3	-	-	
	<u> カ</u> ょ	州地方	(19)	68.4	10.5	21.1	15.8	10.5	10.5			5.3	5.3	-	-	~		5.3
	躬	性計	(102)	59.8	16.7	16.7	13.7	8.8	8.8	4.9	2.9	4.9	3.9	2.0	2.9	1.0		2.9
		男性20代	(21)	47.6	19.0	4.8	14.3	4.8	9.5	-	-	-	4.8		-			9.5
		男性30代	(15)	66.7	33.3	6.7	6.7	-	6.7	-	-	-	6.7			-	-	
		男性40代	(21)	71.4	14.3	14.3	9.5	4.8	9.5	-	4.8	4.8	4.8	-	9.5	-		4.8
性		男性50代	(21)	61.9	14.3	19.0	19.0	14.3	14.3	4.8	-	-	4.8	-	-	4.8	-	
年		男性60代以上	(24)	54.2	8.3	33.3	16.7	16.7	4.2	16.7	8.3	16.7	-	8.3	4.2	-		
代	女	性計	(117)	73.5	19.7	9.4	9.4	9.4	6.0	7.7	8.5	2.6	1.7	0.9		0.9	0.9	0.9
别		女性20代	(24)	62.5	29.2	12.5	12.5	12.5	12.5	8.3	8.3	4.2	-	4.2				
111	[女性30代	(18)	72.2	16.7	-	11.1	11.1	5.6	11.1	11.1					~		
	Ĩ	女性40代	(18)	83.3	5.6	5.6	-	16.7	-	5.6	11.1	5.6				~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~		
		女性50代	(25)	68.0	28.0	4.0	8.0	12.0	4.0	8.0	4.0	4.0	4.0		-			
		女性60代以上	(32)	81.3	15.6	18.8	12.5	-	6.3	6.3	9.4	-	3.1		-	3.1	3.1	3.1

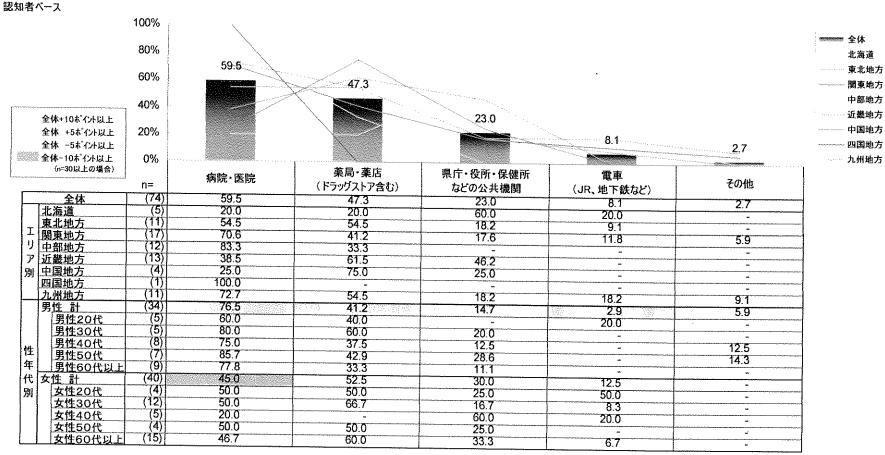
•いずれの層も「知人・友人」が大半を占めている。以下、「家族」、「医師」、「医療機関の事務担当者」などが続く。

7 健康被害救済制度 パンフレット・ポスター接触場所

複数回答

Q6あなたは「健康被害救済制度」のパンフレット、ポスターをどこで見ましたか。あてはまるものを全てお選びください。

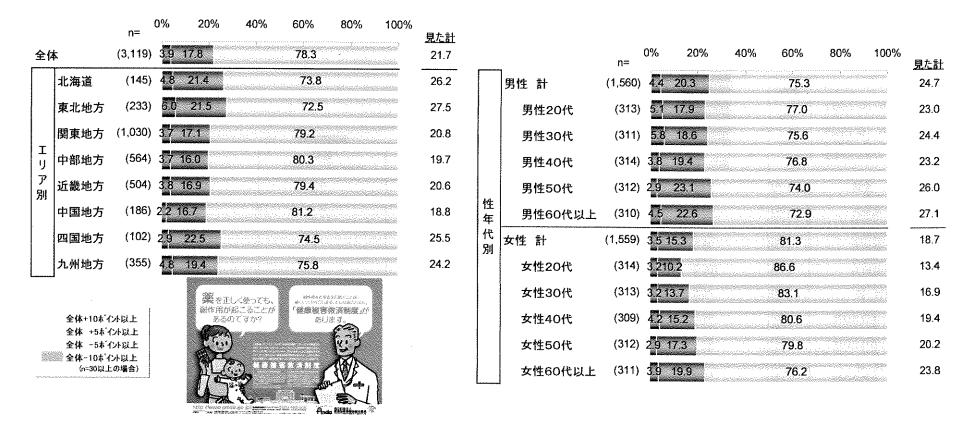
* パンフレット・ポスターによる



•主な接触場所は、「病院・医院」、「薬局・薬店」となっている。

8 広告の認知率

Q7 画像をご覧になってからお答えください。あなたは、この広告を見たことがありますか。



◎ 見たことがある ◎ 見たような気がする 見たことはない

・広告の認知率(見たことがある+見たような)は、2割強。

【エリア別】

・『東北地方』、『北海道』、『四国地方』、『九州地方』の認知率が、25%前後と高め。

【性年代別】

・『男性』の認知率が『女性』をやや上回っている。高年齢層の認知率が高めの傾向。

単一回答

9 広告の接触媒体

.

Q8あなたは、どこでこの広告を見ましたか。あてはまるものを全てお選びください。

* 🖸	広告閲覧者ベース				北海道 貞	東北地方 ——— 関	東地方 中谷	部地方 近畿地	方 中国地	方	→ 九州地方	
		60%										
		40%	40.7	31.0	28.9							
	全体+10ポイント以上	20%		R		7.8	6.2	5.8	5.5	4.0		
	全体 +5ポイント以上							and the second	U.U	4.6	4.1	2.9
	全体 ~5ボイント以上 全体~10ポイント以上 (n=30以上の場合)	0%	病院・医院	菜局・薬店 (ドラッグストア含む)	新聞 (記事・広告を 問わない。	その他の インターネットの	県庁・役所・ 保健所などの	電車 (JR、地下鉄など)	週刊誌 (記事・広告を	医薬品医療機器 総合機構の	医療関係専門誌	その他
·		n≕			折込みチラシを除く〉	ボームページ	公共機関	(one of the orally	問わない)	ホームページ		
<u> </u>	全体	(678)	40.7	31.0	28.9	7.8	6.2	5.8	5.5	4.6	4.1	2.9
f.	北海道	(38)	31.6	31.6	21.1	5.3	10.5	15.8	13.2	2.6	5.3	7.9
T	東北地方	(64)		29.7	32.8	7.8	6.3	4.7	1.6	6.3	6.3	4.7
	関東地方	(214)	43.5	32.7	26.6	8.4	5.6	7.0	5.6	4.2	4.7	1.9
	<u>中部地方</u>	(111)	43.2	25.2	31.5	6.3	1.8	3.6	7.2	1.8	3.6	4.5
	近畿地方	(104)	30.8	29.8	30.8	11.5	6.7	7.7	2.9	6.7	3.8	1.0
		(35) (26)	48.6 · 57.7	34.3	31.4	14.3	8.6		2.9	8.6	-	-
	四国地方	(86)		30.8	23.1	3.8	19.2	7.7	3.8	3.8	-	
	九州地方	(386)	43.0 43.0	34.9	30.2	3.5	5.8	1.2	7.0	4.7	4.7	4.7
	男性計	(300)	43.0	31.1	28.0	9.3	6.0	6.2	5.4	3.9	3.9	1.3
	男性20代	(76)	48.7	37.5 39.5	19.4	15.3	4.2	12.5	6.9	4.2	2.8	-
	男性30代	(73)	40.7 52.1	39.5	21.1	9.2	7.9	9.2	5.3	3.9	6.6	1.3
性	男性40代 男性50代	(73)	35.8	29.6	24.7 30.9	5.5	4.1	6.8	5.5	5.5	4.1	1.4
年	男性50代	(84)	45.2	29.6		11.1	7.4	1.2	3.7	4.9	1.2	1.2
	女性計	(292)	37.7	30.8	41.7 30.1	6.0	6.0	2.4	6.0	1.2	4.8	2.4
	<u>文性</u> 女性20代	(42)	42.9	31.0	30.1 14.3	5.8	6.5	5.1	5.5	5.5	4.5	5.1
別	女性20代	(53)	49.1	45.3	14.3	11.9	4.8	16.7	4.8	9.5	7.1	9.5
	女性40代	<u>(00)</u>	40.0	20.0	25.0	3.8	3.8	5.7	7.5	9.4	3.8	1.9
	女性50代	(63)	30.2	31.7	<u>25.0</u> 39.7	5.0 6.3	11.7	5.0	1.7	-	3.3	8.3
	女性60代以上	(74)	31.1	28.4	47.3	4.1	3.2	3.2	4.8	4.8	6.3	1.6
	XITOVINALI	<u> </u>	V1.1	20.4	41.0	4.1	8.1		8.1	5.4	2.7	5,4

・広告に接触した媒体は、「病院・医院」41%がトップ。以下、「薬局・薬店」、「新聞」が3割前後で続く。

【エリア別】

•『北海道』では、「電車」、「週刊誌」が他のエリアよりも高め。『中国地方』は、「病院・医院」「その他インターネットのホームページ」で他エリアと比べ て高め。

【性年代別】

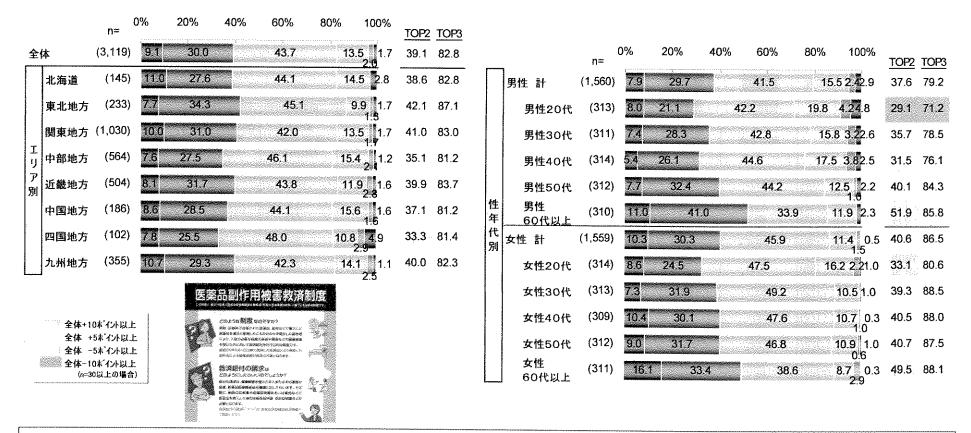
•「病院・医院」「薬局・薬店」は男女30代を中心に高め。

•「新聞」は、男女とも『60代以上』で高く、『女性60代以上』では接触媒体のトップとなっている。

10 健康被害救済制度 関心度

Q9上記の画像をよくお読みになってからお答えください。あなたは「健康被害救済制度」について、どの程度関心がありますか。

🔉 非常に関心がある 🛎 関心がある 🗉 やや関心がある 🛛 あまり関心はない 🛎 関心はない 🛎 全く関心はない



•関心度TOP3(非常に関心がある、関心がある、やや関心がある)は、8割を超える。 【エリア別】 •いずれのエリアも関心度が8割以上となっている。

【性年代別】

・関心度TOP3で見ると、女性のほうが男性に比べて関心が高く、女性30代以上はいずれの年代も9割弱と高い水準。

・『60代以上』は、「非常に関心がある」+「関心がある」で5割前後と非常に高い。

11 健康被害救済制度 情報収集の方法

複数回答

Q10あなたが「健康被害救済制度」について情報を収集する場合、どのような方法で情報を入手しますか。あてはまるものを全てお選びください。

* [{	健康被害救済制度	」関心あり	ベース		海道 東北地	方 ——— 関東地方	中部地方	近畿地方	中国地方 四国地	电方 小州地方	
		80%	65.9	59.6							
		60%									
		40%			28.2	40.7					
	全体+10ポイント以上	20%				19.7	17.6	12.4			
	全体 +5ポイオ以上								7.8	3.8	1.0
0-0400-004	全体 -5ポイン以上	0%		T		I	1	L.		r	
	全体-10ポイバ以上 (n=30以上の場合)		医薬品医療機器 総合機構の	その他のインターネット のホームページ	医師・薬剤師 看護師などの	医薬品医療機器 総合機構の	医療機関の担当者	企業、自治体、 団体の人から聞く	医療関係専門誌	その他の書籍を読む	その他
		n=	ホームページ		医療従事者	相談窓口		/教えてもらう	を読む		- ,
	<u>全体</u>	(2,584)	65.9	59.6	28.2	19.7	17.6	12.4	7.8	3.8	1.0
	北海道	(120)	60.8	63.3	25.8	16.7	22.5	10.8	7.5	5.0	1.0
	東北地方	(203)		57.1	30.0	21.7	19.7	14.8	5.9	3.0	0.5
나는티	関東地方	(855)	68.0	61.3	26.4	21.2	16.4	11.7	8.2	3.9	1.3
	中部地方	(458)	66.8	59.6	29.0	16.8	16.4	13.1	7.4	4.4	0.7
	近畿地方	(422)	67.3	59.0	24.2	20.4	16.4	10.7	7.6	4.0	0.9
	中国地方	(151)	63.6	57.0	33.8	21.2	22.5	14.6	9.3	4.0	4.0
	四国地方	(83)	62.7	57.8	34.9	27.7	16.9	18.1	2.4		1.2
	九州地方	(292)	61.6	57.5	32.9	16.1	19.5	12.0	9.9	3.4	0.3
	男性計	(1,235)	63.6	62.6	27.1	16.5	17.0	12.4	8.0	4.0	1,3
	男性20代	(223)	66.8	66.4	26.5	16.6	16.1	7.2	15.7	6.7	-
	男性30代	(244)	63.1	66.8	21.3	14.8	14.3	9.4	9.4	5.3	0.8
性	男性40代	(239)	64.9	65.7	24.3	13.4	13.4	13.0	6.3	3.3	2.1
年	男性50代	(263)	65.4	63.1	24.7	15.2	18.3	12.5	5.7	4.2	1.1
1 ' I	男性60代以上	(266)	58.3	52.3	38.0	22.2	22.2	18.8	4.1	1.1	2.3
	女性計	(1,349)	68.1	56.9	29.2	22.7	18.2	12.4	7.6	3.6	0.8
別	女性20代	(253)	71.9	58.1	26.1	16.2	12.6	9.1	11.9	3.6	1.2
	女性30代	(277) (272)	72.6	59.2	31.4	21.7	16.6	10.8	5.1	3.2	0.4
	女性40代		71.0	60.3	28.7	25.4	18.0	8.8	7.7	4.8	0.7
	<u>女性50代</u>	(273)	71.8	56.8	24.9	24.2	17.2	13.6	5.5	2.2	1.1
	女性60代以上	(274)	53.3	50.0	34.7	25.5	26.3	19.3	8.4	4.0	0.7

•情報収集の方法として、「医薬品医療機器総合機構のホームページ」、「その他のインターネットのホームページ」が6割前後と上位を占める。 【エリア別】

・『四国地方』は、「医師・薬剤師・看護師などの医療従事者」「医薬品医療機器総合機構の相談窓口」といった項目が他のエリアと比べ高め。 【性年代別】

『女性』は、「医薬品医療機器総合機構のホームページ」、『男性』は、「その他のインターネットのホームページ」がぞれぞれ高め。

• 『60代以上』は、「医薬品医療機器総合機構のホームページ」、「その他のインターネットのホームページ」以外の人を介した情報収集に関する項目 が特徴的に高くなっている。

12 副作用の経験

0%

Q11 あなたは、これまでに医薬品による副作用にあった経験はありますか。

20%

A0%

60%

<u>80%</u>

100%

		n≕ `	U 70	20%	40%	60%	80%	100%
全体	z	(3,119)	19	0.0		81.0	in di karing	
	北海道	(145)	2	1.4		78.6		tandasantisa
	東北地方	(233)	2	3.2	heide n (Stadios) haitista sistemista ist	76.8		
	関東地方	(1,030)	18	.6	eenen oor oor oor oor oor oor oor oor oor oo	81.4	George angeleten og	
エリ	中部地方	(564)	19	1.5	uendalenan den der	80.5	eteriteterinet orsennte Settisterinet of det	
ア 別	近畿地方	(504)	17	5		82.5		
	中国地方	(186)	19	9.9		80.1		
	四国地方	(102)	2	1.6		78.4		
	九州地方	(355)	16	3		83.7		

◎ 医薬品による副作用にあった経験がある 医薬品による副作用にあった経験はない

		n= ()%	20%	40%	60%	80%	100%
-	男性 計	(1,560)	15.6	n son inder species of the second		84.4		inensinensis Allahtata
	男性20代	(313)	14.1	kesinterinterin kesinterinterinterinterinterinterinterinter	enter en de la composition de la compo La composition de la c	85.9	alainga asus Milikiasias	nassadaine Williadaine
	男性30代	(311)	15.8			84.2	nis beredenstandigen Hille Eine de Standige andere de Sta	ertiittelettenen Saansaaskalaas
	男性40代	(314)	16.2			83.8		enske/essen Meksenskille
4.45-	男性50代	(312)	15.4			84.6		
性年	男性60代以上	(310)	16.8			83.2		
代別	女性 計	(1,559)	22.	3		77.7		
	女性20代	(314)	20.4			79.6		
	女性30代	(313)	19.5			80.5		
	女性40代	(309)	28	;9	inen dem territoris de la desiria de la d Rechte de la desiria de la d	73.1		kollekaria Kalikukaria
	女性50代	(312)	25	0		75.0		
	女性60代以上	(311)	19.9			80.1		

・医薬品による副作用の経験が「ある」との回答は全体の2割弱。

【エリア別】

•いずれのエリアも2割前後の人が副作用を経験している。

【性年代別】

・『女性』の方が副作用の経験が高く、『女性40代』では27%にのぼる。

22

13 副作用で治療を受けた経験

単一回答

Q12 あなたが医薬品による副作用にあった際に、医療機関で治療を受けたことがありますか。

* 医薬品による副作用経験ありベース

		0% n=	20%	40%	60%	80%	100%	治療 経験有										
全位	\$	(592) 6	8 36.		5	7.1	energeneer Geschichte	42.9			n≕	0%	20%	40%	60%	80%	100%	治療 経験有
Ì	北海道	(31)3.2	38.7		58	3.1		41.9		男性 計	(244)	4.1	37.7		5	8.2		41.8
	東北地方	(54) 7	4 35.	2	5	7,4		42.6		男性20代	(44)	9.1	27.3		63.	6		36.4
+	関東地方	(192) 4	37.5		57	'.8	erenen Kaindudés	42.2		男性30代	(49)		36.7		63.	3		36.7
エ リ	中部地方	(110) 7	3 33.6		59	.1	nienen Gebeurge	40.9	-	男性40代	(51)	2.0	43.1		1	54.9		45.1
ア 別	近畿地方	(88) 9	.1 34.	1	5(5.8	eneren ser Reddikisio	43.2		男性5O代	(48)	6.3	41.7			52.1		47.9
	中国地方	(37) 🐧	0.8 3	5.1	5	4.1		45.9	性年	男性60代以上	(52)	3.6	38.5		5	7.7		42.3
	四国地方	(22)	13.6	36.4	1	50.0		50.0	代別	女性 計	(348)	8.6	35.1		5	6.3		43.7
	九州地方	(58) 5,	2 39.7		\$ 5	5.2		44.8		女性20代	(64)	3.1 17	2		79,7			20.3
	<u>64.0</u>	体化外以上	1							女性30代	(61)	98	36.1		l.	54.1		45.9
	全体 +	亦小儿上								女性40代	(83)	8.4	43.	4		48.2		51.8
	全体-10	ボイント以上 ボイント以上 以上の場合)								女性50代	(78)	12.8	37	.2		50.0	enterentere onderstation	50.0
•	(71–3C	······································	1							女性60代以上	(62)	8.1	38.7			53.2	ningsinging Webbaningin	46.8

■ 入院して治療を受けたことがある ■ 通院(入院なし)で治療を受けたことがある = 治療を受けたことはない

•医薬品による副作用で治療を受けた経験が「ある」との回答は全体の4割強。その大半は通院治療となっている。 【エリア別】

• 『近畿地方』以西の治療経験が高め。

【性年代別】

•男女とも『40代』、『50代』が治療経験のピークとなっている。一方、『20代』の経験は男女とも最も低くなっている。

14 健康被害救済制度を利用した経験

Q13 あなたは医薬品の副作用の治療を受けた際に、健康被害救済制度を利用したことがありますか。

* 医薬品による副作用経験あり、かつ医療機関での治療経験ありベース

◎ 利用したことがある 利用したことはない

		n= 0	%	20%	40%	60%	80%	100%
全体	*	(129)	5.4		1	94.6		
	北海道	(7)	ing pa Visionalisis		10	0.0	en e	eropenysee Willingsbele
	東北地方	(14)			10	0.0	generatione Williamsconstant	senseense Valisiikkis
_	関東地方	(32)	6.3			93.8	yang sana ang ang Galaka sana ang ang ang ang ang ang ang ang ang	nationistas anticipation
エリ	中部地方	(22)			10	0.0	in orașe de la completa de la compl Completa de la completa de la complet	
ア 別	近畿地方	(21)		23.8		76.2	in an	
	中国地方	(11)			10	0.0		
	四国地方	(8)			10	0.0		
	九州地方	(14)	unding Simisipa		10	0.0		

		n=	0%	20%	40%	60%	80%	100%
	男性 計	(55)	9.1		nainnas despesses Máilteachtaíochtaí	90.9	energenergen i son oor Linderscherderscher son	normanastria Antida Antida
	男性20代	(9)		33.3		66.7	n an	ndessa (astisan) adalah katara
	男性30代	(7)	ingenieren withdiski		10	0.0	laya daga katalan katalan yang daga katalan katalan katalan katalan katalan katalan katalan katalan katalan ka Katalan katalan k	kozeni kozen 1917 - Julio 1919 - Maria
	男性40代	(17)	5.9			94.1		
4.4.	男性50代	(9)			10	0.0		
性 年	男性60代以上	(13)	7.7			92.3	gu Es en la la la Subsciences del	
代別	女性 計	(74)	27		9	7.3		initainistas
	女性20代	(4)	annan an a		10	0.0	enteranda anti-tari enteranda anti-tari	talinin ana ana ana ana ana ana ana ana ana
	女性30代	(10)	10.0	nen universiten operation Territories operationen		90.0		enenenenen Sesteren er
	女性40代	(17)	uniqueriquer existencies	inen manannya an	10	0.0	ett interdente te te enter Standard beste die	andopopilan Mélahinin
	女性50代	(22)	45	handilisen sense sen Sense sense sen	S	15.5	yayan da karanga Yahati karana sab	yagendaseten Médicinalisa
	女性60代以上	(21)	statetaraisteta statetaraisteta	an de la company de la com La company de la company de	10	0.0		edisonen misonisis

・健康被害救済制度の利用経験は5%。 【エリア別】

・『近畿地方』利用経験が高め。

【性年代別】

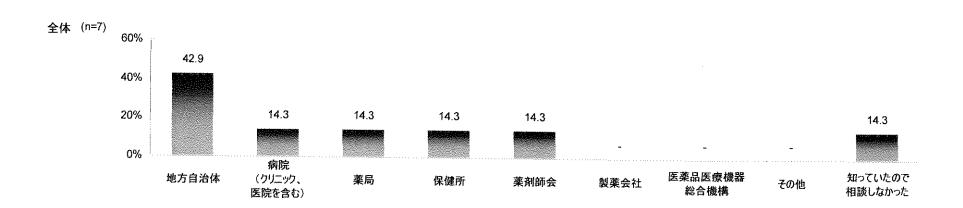
•『男性』の方が利用経験がやや高め。

15 健康被害救済制度利用時の相談先

複数回答

Q14「健康被害救済制度」を利用した際、どこに相談しましたか。あてはまるものを全てお選びください。

*健康被害救済制度利用経験ありベース



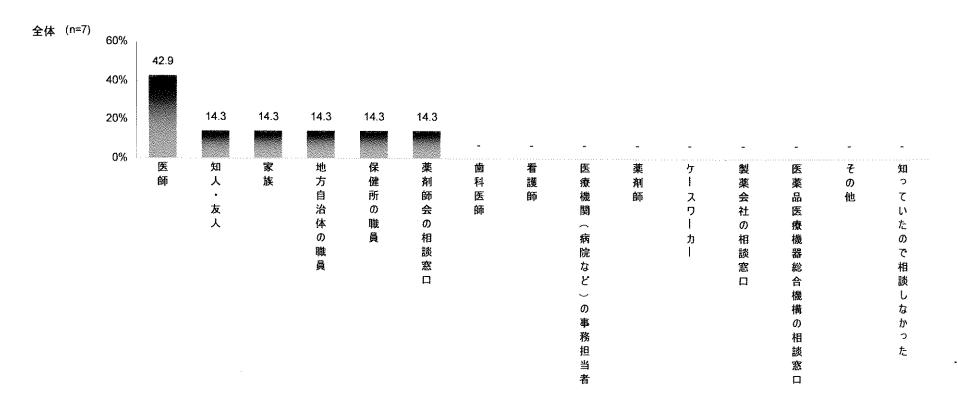
•相談先は、7人中3人が「地方自治体」と回答している。

16 健康被害救済制度利用時の相談相手

複数回答

Q15「健康被害救済制度」を利用した際に、誰かに相談されましたか。当てはまるものを全てお選びください。

*健康被害救済制度利用経験ありベース



1 .

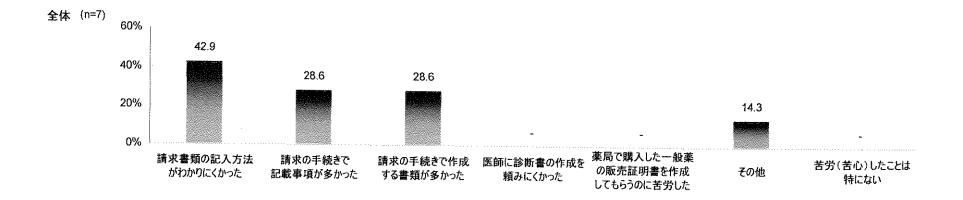
•利用時の相談相手は、7人中3人が「医師」と回答している。

17 健康被害救済制度利用時に苦労した事柄

複数回答

Q16「健康被害救済制度」を利用したときに一番苦労(苦心)したことについて、あてはまるものを全てお選びください。

*健康被害救済制度利用経験ありベース



●利用時に苦労した事柄は、7人中3人が、「請求書類の記入方法がわかりにくかった」、2人が「請求の手続きで記載事項が多かった」、「請求の手続きで作成する書類が多かった」を挙げている。

18 健康被害救済制度を利用しなかった理由

複数回答

Q17「健康被害救済制度」を利用しなかった理由について、あてはまるものを全てお選びください。

. (AE 147	聚被害救済制度 和	旧粒缺な	しヘース	************ 全体 #	北海道 東北地	方 関東地方	中部地方	近畿地方 中	国地方 ————————————————————————————————————	方 九州地方	
		80%									
		60%	~								
		40%	35.2	33.6						,	33.6
É	全体+10ポイント以上 全体 +5ポイント以上	20%			14.8	9.8	4.1	3.3	1.6	1.6	
- And the Second Second	全体 -5ま イント以上 全体~10ま イント以上 (n=30以上の場合)	n=	医師や看護師、 薬剤師が教えて くれなかったから	症状が入院する程の ことではなかったから	運営している組織の 名前を聞いたことが なかったから	請求の手続きが 頃雑そうたから	給付金の支給額が 少ないから	請求に必要な書類が 整わなかったから	制度が疑わしいと 思ったから	請求期限が 過ぎていたから	その他
	<u>全体</u>	(122)	35.2	33.6	14.8	9.8	4.1	3.3	1.6	1.6	33.6
	海道	(7)	57.1	71.4	-	-	-	-	-	- 1	28.6
東唐	北地方	(14)	57.1	21.4	21.4	14.3	-	7.1	-	-	14.3
工関	東地方	(30)	40.0	36.7	23.3	-	3.3	3.3	*	*	33.3
り止	部地方	(22)	27.3	31.8	18.2	13.6	4.5	-	*		36.4
	畿地方	(16)	25.0	37.5		18.8	12.5	6.3	6.3	*	31.3
別里	国地方	(11)	27.3	45.5	9.1	9.1		9.1	-	-	36.4
	国地方	(8)	25.0			12.5	-	-	-	12.5	62.5
	州地方	(14)	28.6 34.0	28.6	21.4	14.3	7.1	-	7.1	7.1	35.7
男	性計	(50) (6)	16.7	38.0	6.0	14.0	8.0	4.0	2.0	2.0	34.0
	男性20代	(7)	28.6	50.0 57.1		16.7		-	-	16.7	16.7
	男性30代	(16)	25.0	25.0	6.3	14.3 18.8					28.6
性	男性40代 男性50代	(9)	44,4	44.4	11.1	11.1	12.5 11.1	12.5	-		31.3
年	男性50代	(12)	50.0	33.3	8.3	8.3	8.3	-	11.1		44.4
: L	1 <u>第146010以上</u> 1性計	(72)	36.1	30.6	20.8	6.9	<u> </u>	2.8			<u>41.7</u> 33.3
別別	生。 女性20代	(12)	25.0	25.0	50.0	-	1.4	25.0	1.4	1.4	25.0
7月	女性30代		33.3	-	44.4	22.2	······································	11.1	*		11.1
	女性40代	(17)	41.2	35.3	5.9	5.9	5.9	-			47.1
	女性50代	(21)	33.3	33.3	14.3	4.8	5.3			4.8	28.6
	女性60代以上	(21)	38.1	38.1	23.8	4.8	_		4.8	4.0	38.1

 利用しなかった理由として、「医師や看護師、薬剤師が教えてくれなかったから」、「症状が入院する程のことではなかったから」が 3割強で上位となっている。「その他」では、「(当時)制度を知らなかった」、「(当時)制度がなかった」などの意見が挙がっている。 【エリア別】

• 『関東地方』は、「運営している組織の名前を聞いたことがなかったから」が高め。

【性年代別】

•「運営している組織の名前を聞いたことがなかったから」は、男女差が大きい。

19 健康被害救済制度 今後の利用意向

Q18 今後、あなたが医薬品の副作用にあった場合、「健康被害救済制度」をご利用したいと思いますか。

0% 20% 40% 60% 利用し 100% 80% n= たい計 全体 (3,119)25.3 利用し 59.2 14.3 0.7 0.6 0% 20% 100% 84.4 40% 60% 80% n= たい計 2.1 0.7 22.1 北海道 (145) 57.2 17.9 79.3 男性 計 55.4 (1,560)26.7 16.0 1.3 82.2 0.6 東北地方 (233)27.5 57.5 14.2 0.9 85.0 1.9 男性20代 (313) 27.8 51.1 18.5 78.9 0.6 (1,030)関東地方 25.4 60.0 13.9 0.5 85.4 男性30代 (311) 28.9 53.7 15.4 1.6 82.6 0.2 0.3 Τ 中部地方 (564) 22.0 59.8 17.0_0.4 0.9 ij 81.7 16.9 0.3 81.2 男性40代 (314) 25.8 55.4 1.6 7 近畿地方 (504) 28.0 60.1 10.3 0.4 88.1 男性50代 (312) 23.7 59.0 別 16.0 1.3 82.7 1.2 性 (186) 中国地方 25.3 57.0 82.3 17.7 男性60代以上 (310) 12.9 1.3 27.4 58.1 85.5 年 代 (102)四国地方 18.6 11.8 3.9 65.7 84.3 女性 計 (1,559)23.8 62.9 12.6 0.1 0.6 86.7 別 九州地方 (355)14.4 1.1 27.9 55.5 83.4 女性20代 (314) 25.8 60.2 86.0 13.4 0.6 女性30代 (313)24.0 64.5 88.5 11.2 0.3 全体+10ポイント以上 女性40代 (309)20.4 65.4 13.9 0.3 85.8 全体 +5ポイント以上 全体 ~5市 化小以上 (312)女性50代 24.0 61.9 12.8 1.3 85.9 全体-10ポイント以上 (n=38以上の場合) 女性60代以上 (311) 24.8 62.4 11.9 0.3 87.1

◎ 利用したい ◎ 状況によって利用したい 分からない あまり利用したくない ◎ 利用したくない

• 今後の利用意向(利用したい+状況によって利用したい)は、8割を上回っている。 【エリア別】

・『北海道』の利用意向は8割を下回る一方、『近畿地方』は9割近くと高い。

【性年代別】

・『女性』の利用意向は、全ての年代で85%以上と高め。一方、『男性20代』は8割を下回っている。

0.6

単一回答

20 健康被害救済制度 利用意向の理由・有効な周知の方法<自由回答> 機動容

Q19 今後、あなたが医薬品の副作用にあった場合、「健康被害救済制度」の利用について【Q18の選択内容】と回答されましたが、その理由を具体的にお教えください。 Q20 「健康被害救済制度」を広く皆様に知っていただくためには、どのような方法が有効だと思いますか。忌憚のないご意見をご記入ください。

(n=3,119)	0% 20% 40% 60% 80%	(n≈3,119)	0% 20% 40% 60% 80%
経済的な負担の軽減	8.6	TV・ラジオ・新聞CM	60.6
No 1997 de destador - Professo I. J destador		パンフレット・ポスター	22.3
必要な制度・利用したい制度	7.0	医療機関・薬局での説明・告知	13.6
当然の権利・泣き寝入りはやだ	3.8	ネット	6.6
		医師・薬剤師から説明	6.3
状況によって・当てはまるか分からないから	1.9	政府・自治体の広報	4.5
情報公開になる・広報活動になる	1.8	電車・駅構内などの広告	2.3
#12 45 45 45 45 75 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12		薬袋・処方箋・製品パッケージに印刷	1.8
精神的負担の軽減	0.9	学校	0.4
患者に責任はない・責任を取って欲しい	0.8	製薬企業の広報	0.1
薬剤の発展に必要		健康診断	0.1
米用砂尤成に公安	0.8	医療機関が申請代行	0.0

●利用意向の理由として、「経済的な負担の軽減」、「必要な制度・利用したい制度」などの意見が多く挙げられている。
 ●周知の方法として、「TV・ラジオ・新聞CM」が6割以上と突出している。以下、「パンフレット・ポスター」、「医療機関・薬局での説明・告知」が続く。

C. C.

.

付録:調査票

くすりに関する調査 のなたは「健康総合教活制度」をどのようにして知りましたか。 あてはまるものを全てお深びください。 予紀アンケートにご協力お願いいたします。 【论编入力】】 「「1、デルビ教送 本アンケート内当ばAcebas Reader」が必要となっておます。 「「2 ラジオ放送 Acrbat Readerをお持ちでない方はこちらよりダウンロードしてください。(単称) 「3 新聞(記事・広告を問われい。折込みデラシを除く) VAN Con Addition Aubet Fixederを利用して表示される運動は環境によって表示まで □ 4 通刊誌(記事・広告を問わない) にお時間がかかる場合がございますのでご注意くたれ、 **厂**5 医瘢腹体鼻門注 □ 6 シンボジウム ▶ 7 医薬品医療機器総合修繕主催の(網営:フォーラム 当アンケートの回答者の皆様へお嫌い □10 医薬品医療機器総合機構のホームページ マクロミルモニタの皆根はまモニタ境和こで「関査についての中枢義務」の徹底をお願いしています。 ■ 9 その他のインターネットのネームページ 当アンゲートの内容あよび当アンケートで知り得た情報については、決して第三者に目外しないよう(後示 振やネームページンの書き込みを含む)、ご協力活動しにます。 □□ 18 人(知人、医師等、企業、自治体、関係)が必難した/教えてもらった ビロスシウレット T 12 #2.9~ F 13 6V0 ‴ஙகள∉ ●なたは「俳集被害我活制度」をご存知ですか。 【 必須入力 】 1 2 3 知っている 名前は離れたことがある 知らない Q4で「健康被害性活動度」について、人(知人、医師等、企業、営活体、団体)力ら聞いたご教えてもらったとお答えの方にお聞きします。 C C r あなたは「健康被害救済制度」について、誰から知りましたか。 あてはまるものを全てお運びください。 【必須入力】】 **厂1 知人 阪**人 □2. 家族 あなたは下記に挙げた「健康被害教活制度」をご存知ですか。 く必須入力 〕 □3 医瞬 □ 4 索科医師 □ 5 新羅師 3 í 2 ● 6. 医療機器(病院など)の事務担当素 剱 知らない 名前は聞いたこ [7] ※資節 っている ■ a σ-20-n-第 9. 地方自治体の職員 「10.保健所の職員 とがある ┗ 11 弁護士 「12 家務新会の相談窓口 「13 製業会社の相談窓口」

C

C

c

c

c

「健康施営発洗制度」について、以下それぞれにあてはまるものをひとつお激びださい。 【必須入力】

3.医薬品約作用被害該済制度

2.生物由未製品感染等被害救清制度

	1 知っている	2 知らない	き 分からない
1. 医薬品の創作用による納害を受けられた方の迅速な純者が図ることを目的と	ſ	ĉ	r
2 医薬品を、減損して使用したにもかかわらず単生した創作用による疾病や検索 などの健康検索について料済給付を行う。	r	c	r
8 入院が必要な程度の疾病や縁者などの健康被害について鉄道給付を行う →	C	r	C
4 給付の機類には、べつかの種類がある 当、陸吉年金、韓客児委育年金、道院午金、道院一時金、罪祭村)	r	ſ	c
6.結付には、種類ごとにそれぞれ諸求期間がある。	r	r	r

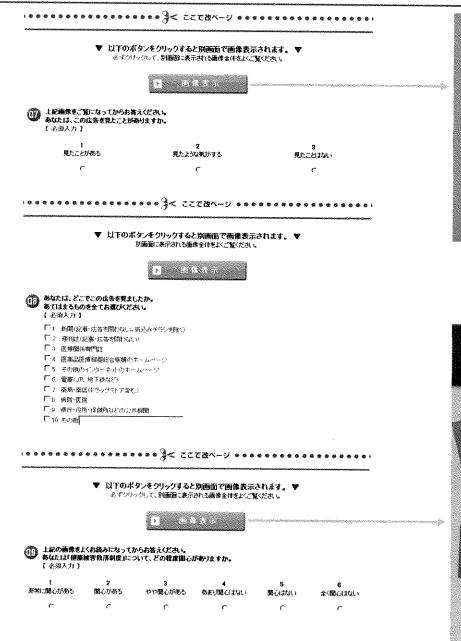
04で「健康被害物資制度」について、パンクレット また」3 水スターで知ったとお答えの方にお聞きします。

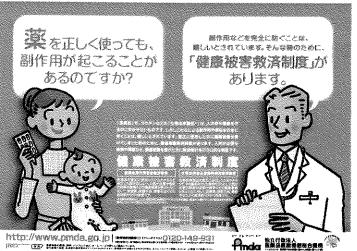
The deads and all debug to the debug to the second state of the se Ð

「14.医薬品医療機器総合機構の相影窓口

□ 15. その胞

あてはまるものを全てお違いください。 【 必須入力 】	
□1. 電運(30. 地干鉄など)	
□2 発局・薬店(ドラッグストア含む)	
□ 3 网第·送统	
□「* 操行・没所・保健階などの公共機関	
「5 その他」	









どのような制度なのですか?

病院・診療所で投業された医薬品、薬局などで購入した 医薬品を適正に使用したにもかかわらず発生した副作用 により、入院が必要な程度の疾病や障害などの健康被害 を受けた方に対して救済給付を行う公的な制度です。 昭和55年5月1日以降に使用した医薬品により発生した 副作用による保護被害が救済の対象となります。

救済給付の請求は

どのようにしたらいいのでしょうか? 給付の請求は、健康被害を受けた本人またはその過族が 直接,医薬品医療機器総合機構に対して行います。その 際に、医師の診断書や投薬証明書あるいは薬局などで 医薬品を購入した場合は販売証明書、受診証明書などが 必要となります。 救済給付の請求については、医薬品医療機器総合機構へ

ご格識ください。





09で、「健康被害救済制度3ここして、」「(09の)受消内容」」とお答えの方にお聞きします。

●なたが「健康被害我清朝度」について情報を収集する場合、どのような方法で情報を入手しますか。 あてはまるものを全てお求びください。

【必須入力】 「1世後関係専門証を読む ▶ 2. その他の書籍を読む ■3. 医薬品医療機器総合総構のホームページ ▶ 4 医薬品医療振器総合振播の指統部门 「「6.その他のインターネットのホームページ □ 6. 医肺-薬剤肺-香油肺などの医療徒事者 「?」医療機構の担当者 「印金葉、自治体、団体の人から聞く、教えてもらう

「 * その他 ·

あなたは、これまでに医薬品による制作用にあった着物はありますか。 【 必須入力 】

ぐ1 医薬品による副作用にあった経験がある

ぐ 2. 後葉語による創作用にあった経験はない

● あなたが医薬品による制作用にあった際に、医療機関で治療を受けたことがありますか。 (必須入力)

○:入院して法修を受けたことがある ●2. 通院(入院なし)で活感を受けたことがある

○3.治療を受けたことはない

1 利用したことがある r

利用したことはない

 \sim

→★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

「銀旗被害救済制度」を利用した歴、どこに相談しましたか。 あてはまるものを全てお違びください。 【必须入力】 「「1 病院(クリエック、医院を含む) ₩2 薬局 ₩ 3 地方窗油体 □ 4 保健的 「5 薬剤師会 「6 製業会社

「7.医藥品医療機器総合機構 [8.その他]

「東知っていたので構築なかった

「健康被害我活制度」を利用した際に、違かに相談されましたか。 当てはまるものを全てお着びください。

- 【 毛箔入力 】 □1. 知人·友人
- Ê.2. 家族 厂 3 医師
- □ 4 歯科医師
- □5 希護師
- 医療機關(病院など)の事務相当報
- 「7. 藻創師
- 下6 ケースワーカー
- 19 地方自治体心磁路
- 「10.保険所の機器
- 「1) 薬剤師会の相談常日
- 「12. 製業会社の相談窓口
- 「13. 医薬品医療療器総合機構の相談窓口
- ‴u ZO®[

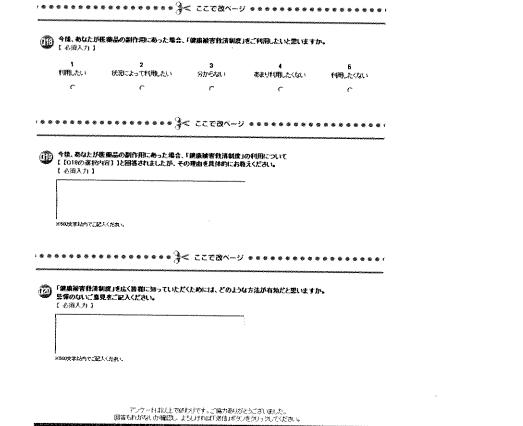
■ 15 知っていたので相談しなかった

「健康兼要救済制度」を利用したときに一番苦労(苦心)したことについて、 めてはまるものを全てお濯びください。

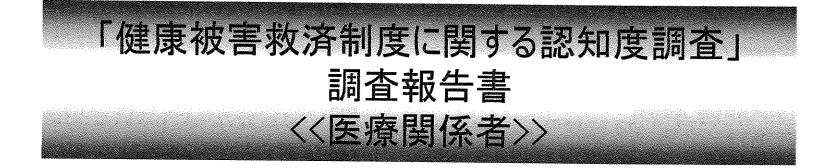
- 【 必須入力】】
- 「「1.諸求の手続きで記載事項が多かった」
- 2. 諸求の手続きで作成する書籍が多かった
- □ 9. 諸軍書類の記入方法がわかまてなった。
- 「「4.運輸に診断書の作成を頼みにくかった」
- □ 5. 柴崎で購入した一般薬の販売短期書き作品は、てもらかりに営労した。
- 「こその他」

「「7苦労(苦心)したことは(朝にない)

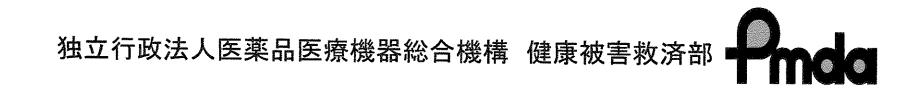
- 「健康被害我活倒度」を利用しなかった理由について、あてはまるものを全てお選びださい。 【 必須入力 】
- 1 創度が騒れした思ったから
- 「2 達宮している細胞の必動変化」たことがなかったから
- 「3. 医肺や香糖師、薬剤師が教えてくれなかったから
- □□ 4 継ばが入院する程のことではなかったから
- □6 諸求期限が過ぎていたから
- □ 6 諸家の羊続きが婚難そうだから
- 「「?」諸国に必要な書類が整わなかったから
- 「こと、給付金の支給額が少な。から
- 「夏老の他」



逆 (1



平成21年9月30日



調査概要	Р3
対象者のプロフィール	P4
Summary	P5
詳細内容	Р9
1 健康被害救済制度 認知率	P10
2 医薬品副作用被害救済制度/生物由来製品感染等被害救済制度 認知率	P11
3 健康被害救済制度 運営主体について	P12
4 医療安全管理者 担当経験の有無	P13
5 健康被害救済制度 認知経路	P14
6 健康被害救済制度 パンフレット接触場所	P15
7 健康被害救済制度 ポスター接触場所	P16
8 健康被害救済制度 内容認知	P17
9 広告の認知率	P19
10 広告の接触媒体	P20
11 健康被害救済制度との係わりについて	P21
12 健康被害救済制度を勧めたいか	P22
13 健康被害救済制度 勧めたくない理由	P23
14 健康被害救済制度 説明等を受けた経験	P24
15 健康被害救済制度 勧めたい理由・有効な周知の方法	P25
16 健康被害救済制度 関与した内容	P26

付録:調査票

P27

·調査目的 健康被害救済制度の浸透度を把握し、今後の基礎資料とする

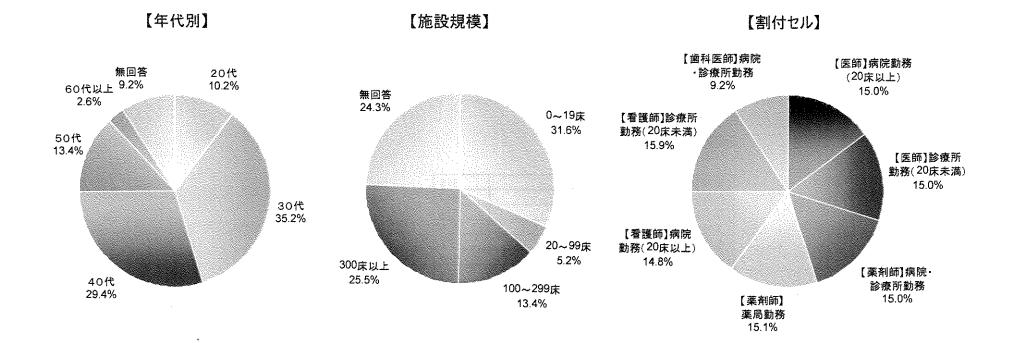
·調査対象 医師·薬剤師·歯科医師·看護師

- ·調査地域 全国
- ·調査方法 インターネット調査
- 調査時期 2009年7月24日(金)~8月4日(火)
- ·有効回答数 3,438サンプル

	3438
24	0400
歯科医師)病院·診療所勤務	318
看護師】診療所勤務(20床未満)	545
	508
看護師]病院勤務(20床以上)	
薬剤師】薬局勤務	519
薬剤師」病院·診療所勤務	516
医師】診療所勤務(20床未満)	517
医師】病院勤務(20床以上)	515

·調査実施機関 株式会社マクロミル

対象者のプロフィール (n=3,438)

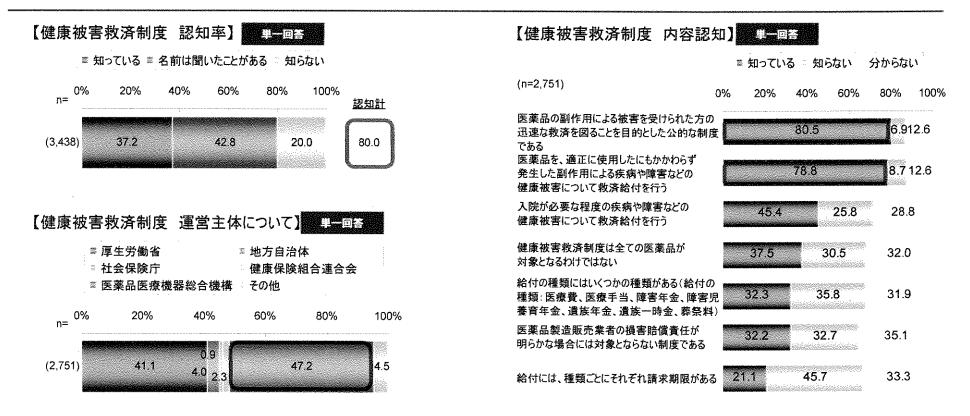


年代別 無回答 ・・・【歯科医師】病院・診療所勤務は「無回答」

施設規模 無回答 …【歯科医師】病院・診療所勤務、【薬剤師】薬局勤務は「無回答」



Summary



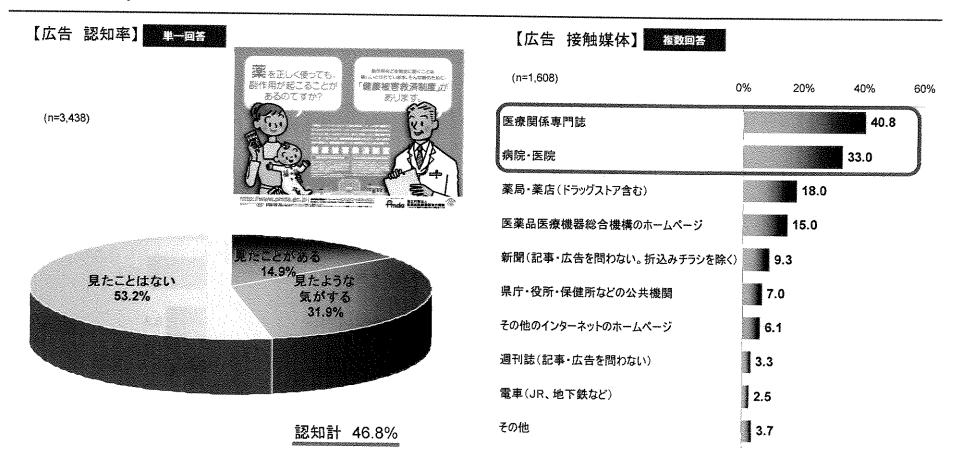
✓健康被害救済制度の認知率は、「知っている」、「名前は聞いたことがある」を合わせると80%。明確に「知っている」との回答は、37%。
 ●『薬剤師』の認知率がほぼ全数に達する。

✓健康被害救済制度認知者は運営主体について、47%が「医薬品医療機器総合機構」と回答。次いで「厚生労働省」41%。
 ●『薬剤師』は、「医薬品医療機器総合機構」が7割弱に達する。

✓健康被害救済制度認知者の認知内容を見ると、「医薬品の副作用による被害を受けられた方の迅速な救済を図ることを目的とした公的な制度である」、「医薬品を、適正に使用したにもかかわらず発生した副作用による疾病や障害などの健康被害について救済給付を行う」の2項目が8割前後と圧倒的に高い。

•内容認知については、『薬剤師』のスコアが他の医療従事者と比べ全般的に高め。

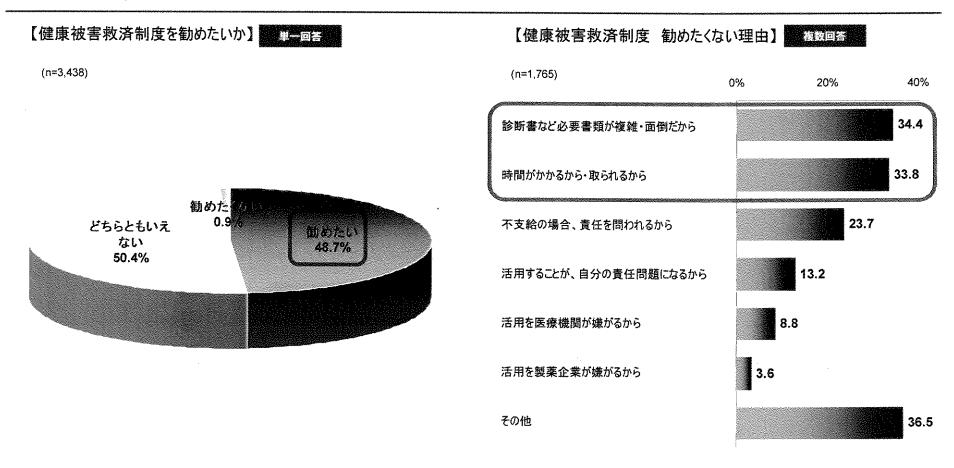
Summary



✓広告の認知率は、「見たことがある」、「見たような気がする」を合わせると47%。明確に「見たことがある」と回答した人は15%。
 ●『医師』、『薬剤師』の認知率が過半数と高め。

✓広告認知者の主な接触媒体は、「医療関係専門誌」41%、「病院・医院」33%。
 ●『薬剤師(病院・診療所勤務)』は、「医薬品医療機器総合機構のホームページ」が特徴的に高い。

Summary



✓健康被害救済制度を患者に勧めたいかについて、約半数が「勧めたい」と回答。「勧めたくない」は1%未満。
 ●『薬剤師』は、「勧めたい」が6割近くと、他の医療従事者と比べやや高め。

✓健康被害救済制度を患者に勧めたくない主な理由は、「診断書など必要書類が複雑・面倒だから」、「時間がかかるから・取られるから」の2つ。
 ●『医師』は、「診断書など必要書類が複雑・面倒だから」、「時間がかかるから・取られるから」が他の医療従事者と比べ非常に高い。

.

.

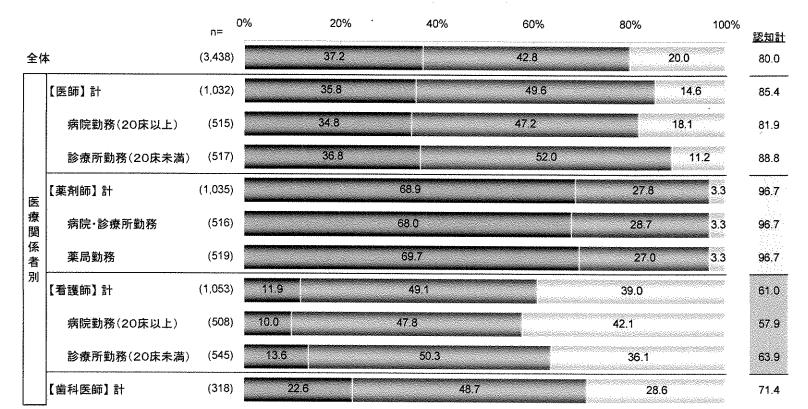
. .

·

詳細内容

1 健康被害救済制度 認知率

Q1 あなたは「健康被害救済制度」をご存知ですか。



◎ 知っている ◎ 名前は聞いたことがある ◎ 知らない

・健康被害救済制度の認知率(知っている+聞いたことがある)は、8割。

【医療関係者別】

・『薬剤師』の認知率が97%とほぼ全員が認知している。一方、『看護師』では6割前後とやや低め。

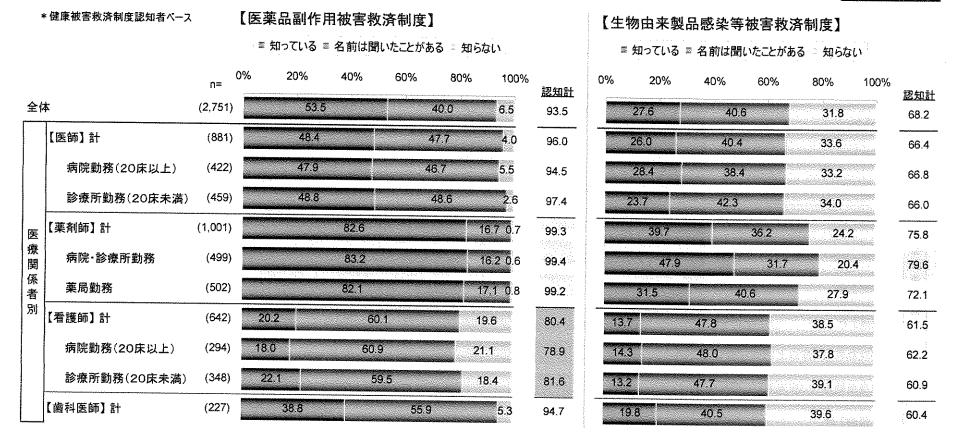
10

単一回答

2 医薬品副作用被害救済制度/生物由来製品感染等被害救済制度 認知率

Q2あなたは下記に挙げた「健康被害救済制度」をご存知ですか。

単一回答



健康被害救済制度認知者のうち、
 医薬品副作用被害救済制度の認知率(知っている+聞いたことがある)は、94%。
 生物由来製品感染等被害救済制度の認知率は、68%。
 【医療関係者別】
 ・いずれの制度も『薬剤師』のスコアが高め。特に、医薬品副作用被害救済制度の認知度はほぼ全数となっている。

3 健康被害救済制度 運営主体について

*(建康被害救済制度認知者ベース	× ×	厚生労働省	◎ 地方自治体(都遠	前原県、市町村	すなど)◎ 社会保険♪	宁 健康保険網	組合連合会 ∞ 医	薬品医療機器総合	合機構 ■ その他
		n= 0%	6	20%		40%	60%		80%	100%
全体	本	(2,751)		41.1		4.0 2.3		47.2		4.5
	【医師】計	(881)		38.4		5.3 2.0 0.8		47.7		5.8
	病院勤務(20床以上)	(422)		40.0		6.2 1.42.8		45.7		3.8
	診療所勤務(20床未満)	(459)		36.8		4.6 1.3 0.2		49.5		7.6
医	【薬剤師】計	(1,001)		28.1	1.5 1.6 0.6			66.6		1.6
療関	病院·診療所勤務	(499)		28.7	1.2 1.2 0.4			67.1		1.4
係者	薬局勤務	(502)		27.5	1.8 2.0 0.8			66.1		1.8
別	【看護師】計	(642)			62.1			5.9 1.23.9	19.3	7.5
	病院勤務(20床以上)	(294)			61.9			6.1 1.7 4.1	18.7	7.5
	診療所勤務(20床未満)	(348)		in an	62.4		and the second second	5.7 0.93.7	19.8	7.5
	【歯科医師】計	(227)		49	8		4.01.3 1.8	3 3	8.8	4,4

・健康被害救済制度認知者に運営主体について尋ねたところ、約5割が「医薬品医療機器総合機構」と回答、

次いで、「厚生労働省」41%となっている。

بالمتعامين والمتعام والمراجع والمتعادية والمتعام والمتعام

•「その他」の内容として、「独立行政法人」、「製薬企業」などが見られた。

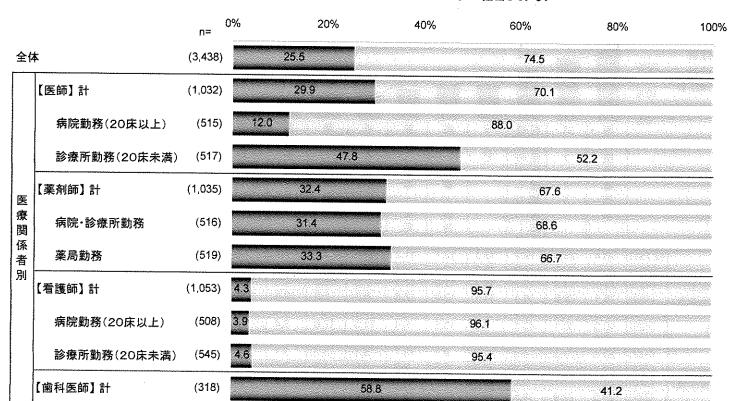
【医療関係者別】

・『薬剤師』は、「医薬品医療機器総合機構」が7割弱に達する。一方、『看護師』は、「厚生労働省」が6割強と高い。

単一回答

4 医療安全管理者 担当経験の有無

Q4あなたは現在お勤めの施設で、医療安全管理者を担当されていますか。



■ 担当している 二 担当していない

(²⁰⁰⁰

•医療安全管理者を「担当している」との回答は、26%。

【医療関係者別】

• 『医師(診療所勤務)』、『歯科医師』は、「担当している」のスコアが特徴的に高い。

単一回答

5 健康被害救済制度 認知経路

複数回答

Q_5	あなたは「健康被害救済	制度」を	とどのよ	うにして	知りまし	したか。	あては	まるもの	を全て	お選び	ください	` o								
* (建康被害救済制度認知者ペース																			
	**************************************	40%	30.4	in the second																
	【医師】計	30%		23.4																
	【薬剤師】計			20.7	19.2	\sim														
	【看護師】計	20%				/ 13.3	12.7	11.2	10.4								~			
	——【歯科医師】計	10%							10.4	9.1	7.7	7.5	7.2	6.9	5.9	5.2	4.0	1.3		6.6
		0%	医	15	医機	- -	雑	新	- ポ	 学	製	同医		病	県公	講	同	患	0.1 D	
			寮	ン	薬構	Ĺ	誌	闣	ス	会	薬	僚師	僚	院	<u></u> 斤的	演	僚	者	v	0
,	······································		関	7	品の	ピ		-	A	-	企	の仲	の	か	や機	숲	Ø	さ	D	他
	全体+10ポイント以上		連	レ	医木		記	53		研	業	医間	薬	5	保関		看	<i>h</i>		
	全体 +5ポイント以上		專	ッ	療		事	事		修	か	師	剤	の	健		護	か		
	全体 -5ポイント以上		門	F	機ム		•	•		숲	Б	•	師	指	所		師	ら		
	全体-10ポイ가以上 (n=30以上の場合)		該		器 べ 総 丨		広告	広告						導	な					
<u> </u>		n=			応し合ジ										と の					
	全体	(2,751)	30.4	23.4	19.2	13.3	12.7	11.2	10.4	9.1	7.7	7.5	7.2	6.9	5.9	5.2	4.0	1.3	0.1	6.6
	【医師】計	(881)	25.5	22.2	12.6	15.2	12.4	14.8	7.7	7.4	10.0	14.4	2.5	7.8	6.5	5.3	0.1	1.6	0.3	5.0
	病院勤務(20床以上)	(422)	22.7	14.2	10.7	19.7	12.8	17.1	7.3	10.0	9.5	16.6	4.0	13.5	4.0	7.8	-	1.9	0.2	4.7
医		(459)	28.1	29.6	14.4	11.1	12.0	12.6	8.1	5.0	10.5	12.4	1,1	2.6	8.7	3.1	0.2	1.3	0.4	5.2
療		(1,001)		35.0	33.3	3.4	16.3	5.3	17.4	14.7	8.6	0.9	15.7	3.3	5.7	7.4	0.2	0.7	-	10.2
関	病院·診療所勤務	(499)	40.3	30.1	43.1	3.8	13.6	6.4	11.0	17.6	9.4	1.4	18.2	4.6	4.2	10.2	0.4	0.6	-]	9.0
係	here and the second	(502)	42.0	39.8	23.5	3.0	18.9	4.2	23.7	11.8	7.8	0.4	13.1	2.0	7.2	4.6	-	0.8	-	11.4
者		(642)	20.6	7.3	6.5	27.3	8.1	13.7	5.1	3.7	3.7	7.2	2.8	11.4	3.6	2.0	16.8	2.3	0.2	3.6
別	病院勤務(20床以上)	(294)	21.1	7.1	6.1	30.3	6.5	9.5	6.8	4.8	2.7	5.4	5.1	15.3	17	2.4	17.3	1.4	0.3	1.7
	診療所勤務(20床未満)	(348)	20.1 29.5	7.5 22.9	6.9 18.5	24.7	9.5	17.2	3.7	2.9	4.6	8.6	0.9	8.0	5.2	1.7	16.4	3.2	-	5.2
L	【歯科医師】計	(221)	29.0	22.9	10.D	10.6	11.5	16.7	5.3	6.6	6.6	10.6	0.9	6.2	11.5	4.0	-	0.4	-	5.3

・認知経路は、「医療関連専門誌」が3割と最も高い。以下、「パンフレット」、「医薬品医療機器総合機構のホームページ」が2割前後で続く。
 ・「その他」の内容として「大学の授業」などの記述が見られた。

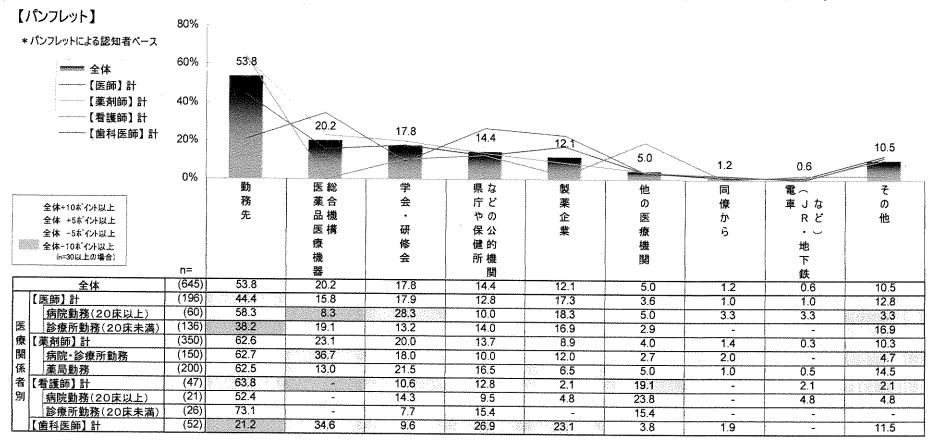
【医療関係者別】

•『看護師』は、「テレビ」、「同僚の看護師」が上位となっている。

6 健康被害救済制度 パンフレット接触場所

複数回答

Q6あなたは「健康被害救済制度」のパンフレットやポスターをどのように見たり、入手したりしましたか。それぞれあてはまるものを全てお選びください。



•パンフレットの接触場所は、半数強が「勤務先」と回答している。

【医療関係者別】

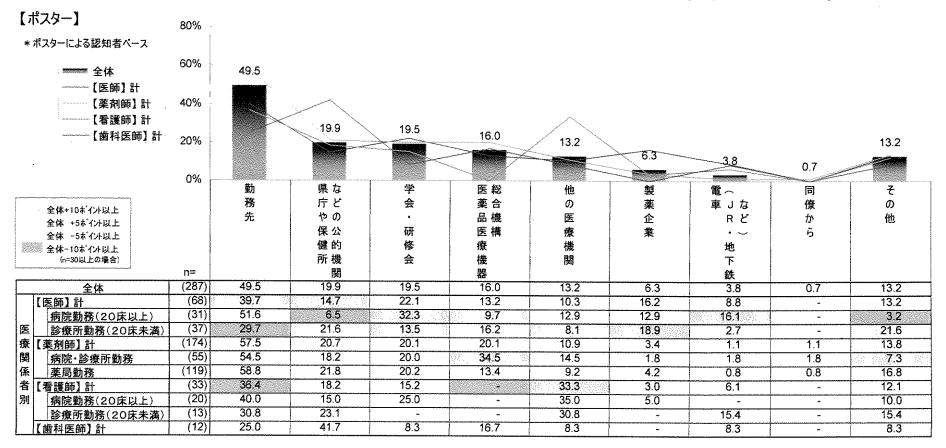
•『薬剤師』は6割以上が「勤務先」、『歯科医師』は、「医薬品医療機器総合機構」、「県庁や保健所など公的機関」、「製薬企業」などが上位と なっている。

n=30未満は参考値

7 健康被害救済制度 ポスター接触場所

複数回答

Q6あなたは「健康被害救済制度」のパンフレットやポスターをどのように見たり、入手したりしましたか。それぞれあてはまるものを全てお選びください。



•ポスターの接触場所は、約半数が「勤務先」と回答している。

【医療関係者別】

• 『医師』は、「製薬企業」で接触する割合が他の医療従事者と比べ高い。

•その他、『医師(病院勤務)』は「学会・研修会」、『薬剤師(病院・診療所勤務)』は「医薬品医療機器総合機構」、 『看護師』は「他の医療機関」での接触が高め。

n=30未満は参考値

8 健康被害救済制度 内容認知



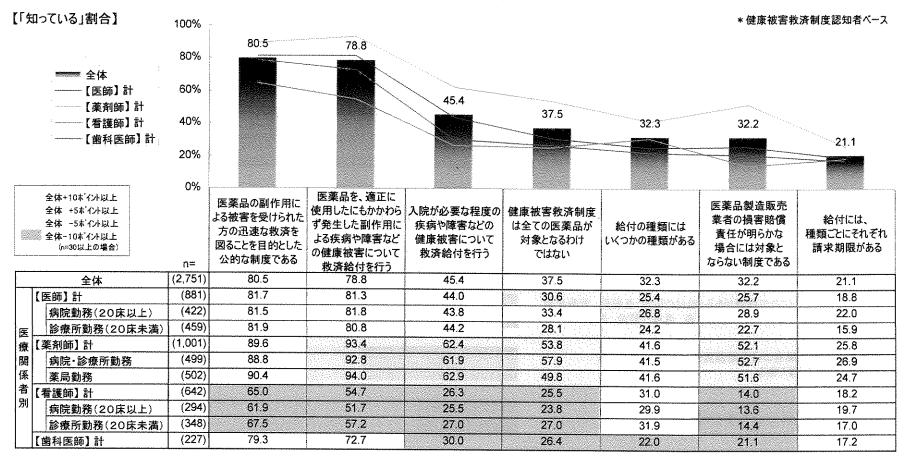
Q7「健康被害救済制度」について、以下それぞれにあてはまるものをひとつお選びください。 *健康被害救済制度認知者ペース ◎ 知っている 🗉 知らない 分からない (n=2.751) 0% 20% 40% 60% 80% 100% 医薬品の副作用による被害を受けられた方の迅速な救済を図ることを 80.5 6.9 12.6 目的とした公的な制度である 医薬品を、適正に使用したにもかかわらず発生した副作用による疾病や 78.8 8.7 12.6 障害などの健康被害について救済給付を行う 入院が必要な程度の疾病や障害などの健康被害について救済給付を行う 45.4 25.8 28.8 健康被害救済制度は全ての医薬品が対象となるわけではない 37.5 30.5 32.0 給付の種類にはいくつかの種類がある(給付の種類:医療費、医療手当、 32.3 35.8 31.9 障害年金、障害児養育年金、遺族年金、遺族一時金、葬祭料) 医薬品製造販売業者の損害賠償責任が明らかな場合には 32.2 32.7 35.1 対象とならない制度である 給付には、種類ごとにそれぞれ請求期限がある 21.1 45.7 33.3

「医薬品の副作用による被害を受けられた方の迅速な救済を図ることを目的とした公的な制度である」、
 「医薬品を、適正に使用したにもかかわらず発生した副作用による疾病や障害などの健康被害について救済給付を行う」の2項目が8割前後と圧倒的に高い。
 他項目の認知率は、半数に満たない。

17

8 健康被害救済制度 内容認知

Q7「健康被害救済制度」について、以下それぞれにあてはまるものをひとつお選びください。



【医療関係者別】

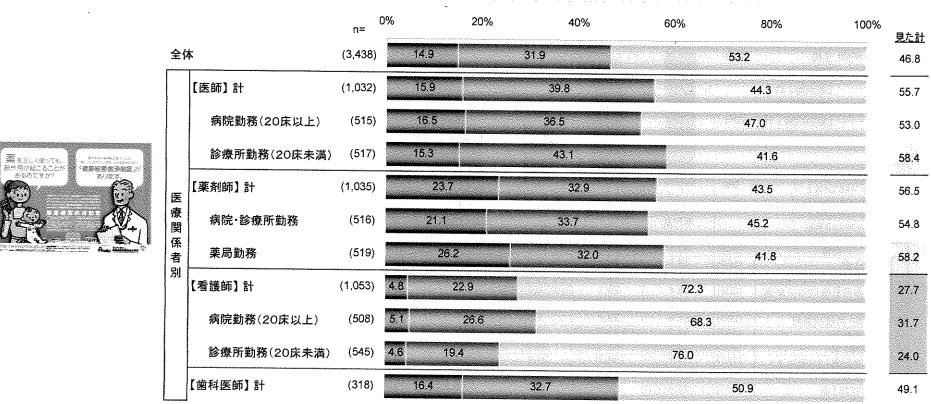
•『薬剤師』のスコアの高さが目立つ。軒並みスコアの高い『薬剤師』においても、「給付の種類にはいくつかの種類がある」、「給付には、種類ごとにそれぞれ請求期限がある」の認知率は半数を下回る。

複数回答

9 広告の認知率

単一回答

Q8上記画像をご覧になってからお答えください。あなたは、この広告を見たことがありますか。



◎ 見たことがある ◎ 見たような気がする ◎ 見たことはない

・広告の認知率(見たことがある+見たような)は、47%。 【医療関係者別】

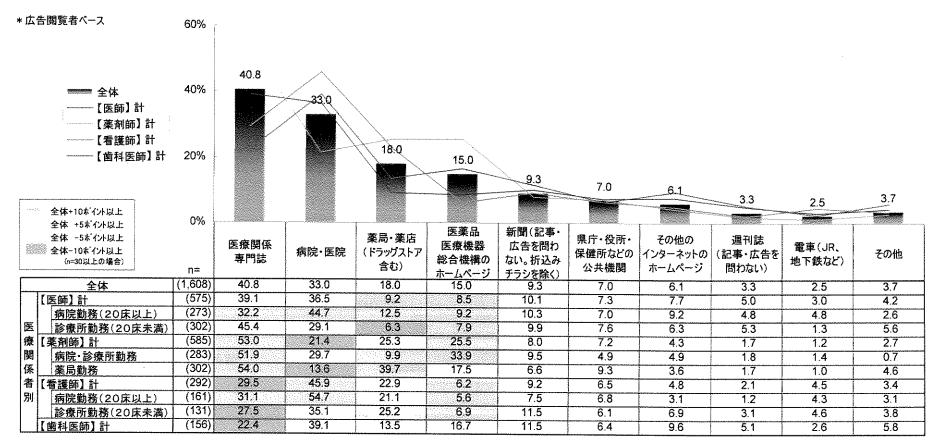
• 『医師』、『薬剤師』の認知率が過半数と高い。

『薬剤師』は、「見たことがある」のスコアが2割強に達し、認知の度合いについては『医師』を上回っている。

10 広告の接触媒体

複数回答

Q9あなたは、どこでこの広告を見ましたか。あてはまるものを全てお選びください。



・広告に接触した主な媒体は、「医療関係専門誌」41%、「病院・医院」33%。

•「その他」の内容として、「薬剤師会」、「送られてきたポスター・パンフレットで」などの記述が見られた。

【医療関係者別】

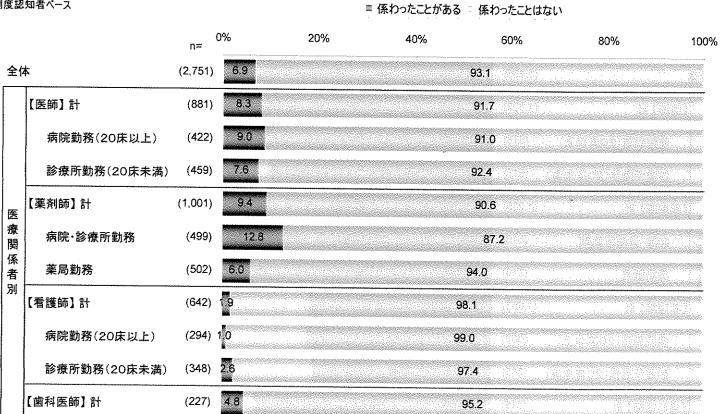
•『薬剤師』、特に、『薬剤師(病院・診療所勤務)』は、「医薬品医療機器総合機構のホームページ」が高い。

11 健康被害救済制度との係わりについて

単一回答

Q10あなたはこれまでに「健康被害救済制度」に係わったことはありますか。

*健康被害救済制度認知者ペース



・健康被害救済制度に係わったことが「ある」との回答は7%にとどまる。

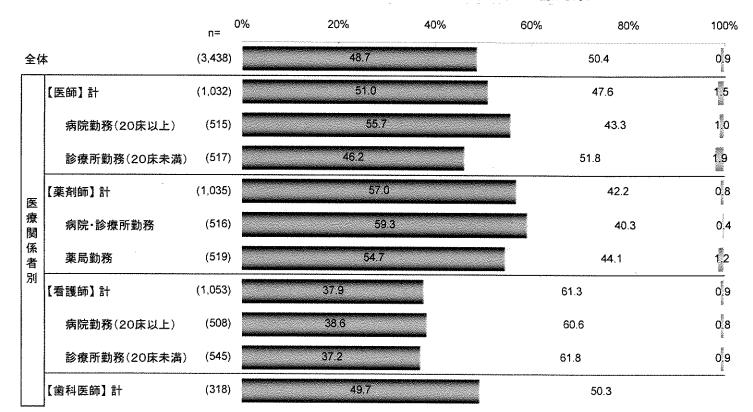
【医療関係者別】

・『薬剤師(病院・診療所勤務)』は、「係わったことがある」が1割強とやや高め。

12 健康被害救済制度を勧めたいか

単一回答

Q12 あなたは今後、「健康被害救済制度」の利用を患者さんに勧めたいとお考えですか。



◎ 勧めたい どちらともいえない ◎ 勧めたくない

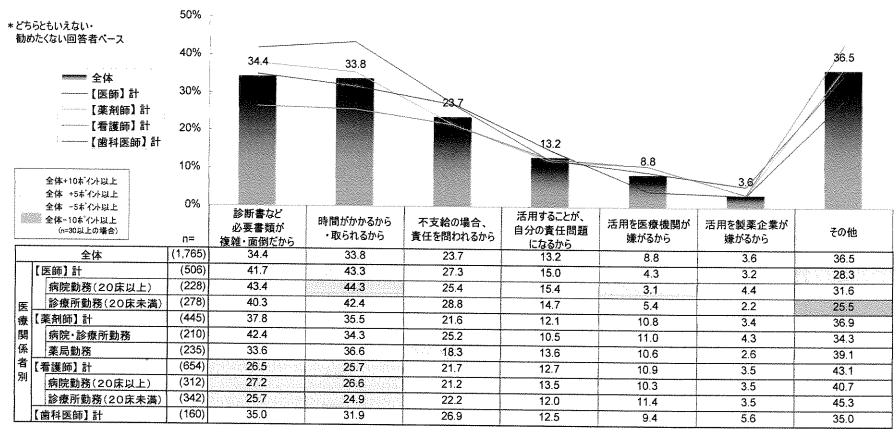
・健康被害救済制度を患者に勧めたいかについては、約半数が「勧めたい」と回答。「勧めたくない」は1%に満たない。

【医療関係者別】

・『薬剤師』は、「勧めたい」が6割近くとやや高い。

13 健康被害救済制度 勧めたくない理由

Q14 あなたはQ12で健康被害救済制度の利用を患者さんに勧めたいかという質問において、【Q12の選択内容】と回答されましたが、どのような理由からですか。 あてはまるものを全てお選びください。



・健康被害救済制度を患者に勧めたくない主な理由は、「診断書など必要書類が複雑・面倒だから」34%、

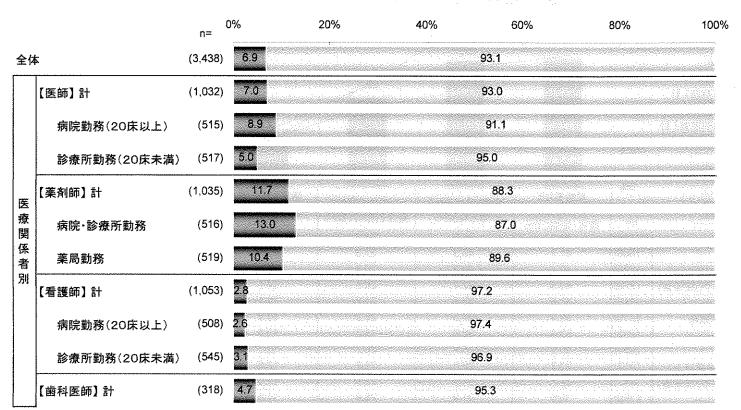
「時間がかかるから・取られるから」34%の2つ。

•「その他」の理由は、「副作用の判別が困難」、「制度に適応する事例がない」、「状況に応じて判断したい」などの意見が多く見られた。 【医療関係者別】

『医師』は、「診断書など必要書類が複雑・面倒だから」、「時間がかかるから・取られるから」が他の医療従事者と比べ高い。

14 健康被害救済制度 説明等を受けた経験

Q15 あなたは、「健康被害救済制度」について、お勤めの施設や関係機関から説明や紹介を受けたことがありますか。



■ 受けたことがある = 受けたことはない

・健康被害救済制度の説明や紹介を受けた経験が「ある」との回答は1割に満たない。

【医療関係者別】

・『薬剤師』は、「受けたことがある」が1割強とやや高い。

<u> 11</u>-02

15 健康被害救済制度 勧めたい理由・有効な周知の方法 <自由記述>



Q13 あなたはQ12で健康被害救済制度の利用を患者さんに「勧めたい」と回答されましたが、どのような理由からですか。 Q16今後、「健康被害救済制度」の活用を、医療関係者の皆様にご協力を頂くためにはどのような事が必要だと思いますか。 今後の参考にさせて頂きますので、忌憚のないご意見をご記入ください。

【健康被害救済制度 勧めたい理由】

※勧めたい回答者ペース

【健康被害救済制度 有効な周知の方法】

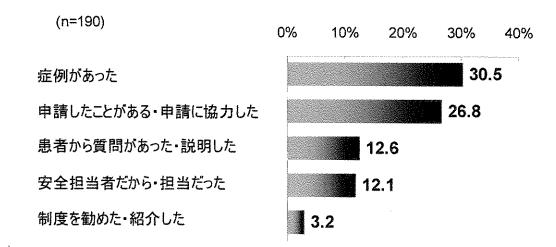
2076 3078 4076 3076	(n=3,438)	0% 20%	40%	60%
26.7	制度の認知 普及 広告・宣伝		41.7	
20.1				
.6			30.7	
4	医師会や公的機関からの 啓蒙・講演会・勉強会・教育・指導	23	.7	
9	手続きの簡略化・システムの簡略化	6.9		
;	責任の明確化	4.2		
	医師の仕事ではない・			
	医師、医療従事者の負担が大きい	1.5		
	基準の明確化・認定基準が厳しい	1.0		
	法制化	0.9		
	情報の共有・提供	0.7		
	報酬が必要	0.6		
	創作用の埋解	0.3		
	匿名性	0.1		
		26.7 制度の認知、普及、広告・宣伝 20.1 医療従事者への浸透 26.7 制度の認知、普及、広告・宣伝 26.7 制度の認知、普及、広告・宣伝 20.1 医療従事者への浸透 5 三額会や公的機関からの 7.4 啓蒙・講演会・勉強会・教育・指導 .9 手続きの簡略化・システムの簡略化 .5 責任の明確化 医師の仕事ではない・ 医師、医療従事者の負担が大きい 基準の明確化・認定基準が厳しい 法制化 情報の共有・提供 報酬が必要 副作用の理解	3 20% 30% 40% 50% 0% 20% 26.7 制度の認知、普及、広告・宣伝 20.1 医療従事者への浸透 5 医師会や公的機関からの 5 責任の明確化 5 責任の明確化・認定基準が厳しい 1.0 法制化 0.9 1.0 法制化 0.9 1年報酬が必要 0.6 副作用の理解 0.3	3 20% 30% 40% 50% 0% 20% 40% 26.7 制度の認知、普及、広告・宣伝 20.1 医療従事者への浸透 20.1 医師会や公的機関からの 24 啓蒙・講演会・勉強会・教育・指導 9 手続きの簡略化・システムの簡略化 5 責任の明確化 度師の仕事ではない・ 4.2 度師の仕事ではない・ 1.5 基準の明確化・認定基準が厳しい 1.0 法制化 0.9 情報の共有・提供 0.7 10.6 副作用の理解 0.3 百人

・健康被害救済制度を患者に勧めたい主な理由は、「患者のためになるから」27%、「必要な制度・有益な制度」20%などの意見が多く挙げられた。
 ・健康被害救済制度の有効な周知方法として、「制度の認知、普及、広告・宣伝」42%、「医療従事者への浸透」31%、「医師会や公的機関からの啓蒙・講演会・勉強会・教育・指導」24%が上位となっている。

16 健康被害救済制度 関与した内容 <自由記述>

Q11 あなたはQ10で健康被害救済制度に【Q10の選択内容】と回答されましたが、どのような理由からですか。

※係わった者ベース



•健康被害救済制度に係わった理由として、「症例があった」「申請したことがある・申請協力した」といった回答が中心。

·

付録:調査票

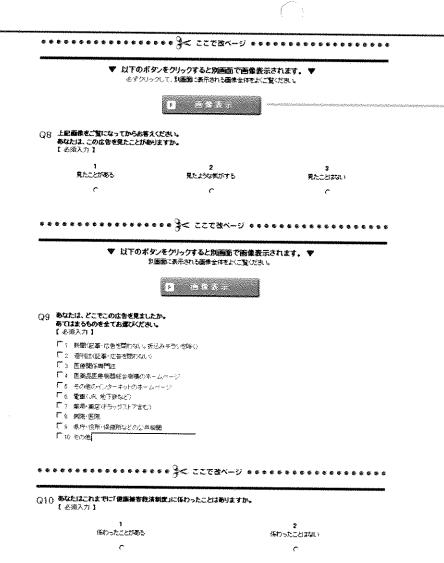
	医薬品に関する調査				●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●
	記アンケートにご協力お難いいたします 防一人1回までの回答でお願いいたしま				Q5 あなたは「健康福音教活動版」をどのようにして知りましたか。 あてはまるものを全てお違いください。 (必須入力)
本アンワート Acrbat Restarをお ない。Restarである	内内は「Across Peader」がと思えなっ 有ちでない方はこちらよりダウンロート Acter Resorceが用いてあまれる運動 にお時間がかかる場合がごおいますのでで	してください。(無料 は厳密によって表示が			 □ 10.701-04- □ 2 ポスター □ 2 ポスター □ 3 DV0 □ 4 デレビ □ 5 繊維(記事・応告) □ 5 繊維(記事・応告) □ 5 繊維(記事・応告) □ 5 繊維(記事・応告)
あなたは「健康被害救済制度」をご存知 「必須入力 】	ですか。	·		<u> </u>	17777 医
90-7(1)2	名前は聞いたことがある	ある 知らない			□10 医栗尾蕊像を機構総合像痛のホームページ □ 11 病院の6の指導
C	C		C		 □ 12 集庁で保護所などの2019時間 □ 13 同僚の建築・運動保護 □ 14 同僚の職務時 □ 15 同僚の機械時
*********	• }< ===================================	*****		****	「To: FrankOrga Segimon 」「To: 数準企業加め 「To: 悪 考合ALDAら」 「To: 考合の他」
あなたは下記に挙げた「健康被害救済 4 4 2 必須入力) 3					k .
	1 500	2 名		3. 99	**************************************
	ってい	名割は聞いたことがある		触らない	
檃品副作用按答找不制度 物由未製品质杂等研查机得創度	r e	r r		с с	1 2 3 4 5 6 7 8 9 動物等先 学会・研修研究 要要で加加 の などの の などの の の の の の の の の の の の の の
5 0 6 9 5 9 5 9 5 9 5 9 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	祥をご存知ですか。	*****	****	****	金 館 第 222 地 石谷 田 第 223 14 での 233 14 の 233 の 235 の 235 の 235 の
あてはまるものをひとつおまびください。 【 必須入力 】 「 1 家生労働者 「 2 地方自治住(都道語係、市町村など)					
 ○ 社会保険庁 ○ 4. 健康保険組合連会会 ○ 6. 医薬品医療機器総合機構 					**************************************
℃ 6. その他	· · ·				Q7 「健康被害我活制度」について、以下それぞれにあてはまるものをひとつお遊びください。 【 必須入力 】
	* Se 2278x-0 * e	******	*****	*****	1 2 3
					知知の分かれていた。
あなたは現在お勧めの施設で、医療安全	全管理者を担当されていますか。				知 知 分かって なっち ちんしし い い
【必須入力】					1. 医薬品の操作用による被害を受けられた方の迅速な動演を図ることを目的と
1 担当している		2 担当して1			2 医薬品を通知に使用したにもかからず発生した動作用による病情が確整
c		c			3.入振が必要な程度の映画が確認などの健康被害について数減給付者行う → C C C
					4. 連携統善部決制規定全ての医療品が対象となるオオナマはおう
					度である。 6. 結何の種類コス,Kichyの種類がある。 体治行の種類に医療数、医療手当、陣害年金、障害児激育年金、造歩年金、→ C C C
					連続特金(講解約) ? 給付には、雑類ごどにそれそれ諸法解除がある → C C C

ſ.

Q2 あなたは下記に挙げた「総広被害救済制度」をご 【 必須入力】】	存知ぞすか。		
	7 知	2 49	3 第 の
	かじる	判は聞いた。	ちない
		とがある	
1. 逐來品創作用祕密救済制度	c	r	c
2.生物由未製品感染等被否執清制度	r	r	Ċ

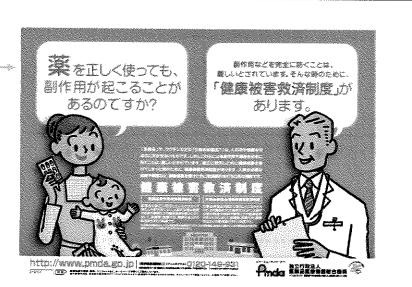
Q3	あなたは「健康被害教活制度」の運営主体をご存知ですか。 あてはまるものをひとつお運びください。 【 必須入力 】
	つ。 福祥 事 事 事
	● 2 地方自治律(都道府県、市町村など)
	● 2.社会保険庁
	● 4. 健康保護組合連合会
	○ 6. 影楽品選擇機器総合機構
	て a その他

28

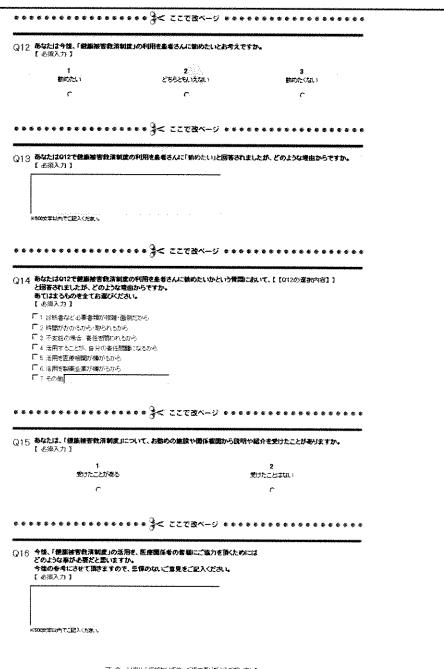


Q11 あなたは2010で健康被害教法制度に【Q10の選択内容】】と回答されましたが、どのような理由からですか。 【 を深入方 】

* *500次本以内でご記入くたき、



付録:調査票



アンケービは以上で終わりです。ご協力委りがとうごさいました。 回答もれがは、防確認し、よろしければ「活化」ボダンをクリックしてください。